SONY

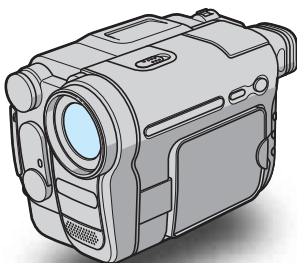
3-087-918-02(1)

取扱説明書

はじめにお読みください

ビデオカメラレコーダー

HANDYCAM

CCD-TRV116

早分かりガイド

動画を撮る
シンプルに撮る・見る 6~8

詳しくは

準備する 9
撮る 17
見る 28
メニューで設定する 32
ダビングや編集をする 45
困ったときは 51
その他 60
各部のなまえ・索引 67

video Hi8

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

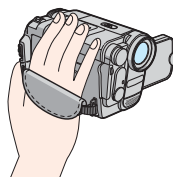
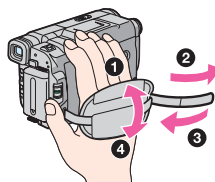
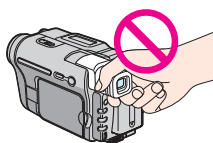
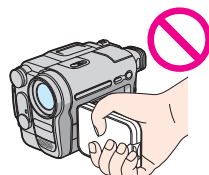
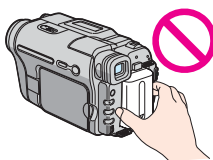
はじめにお読みください

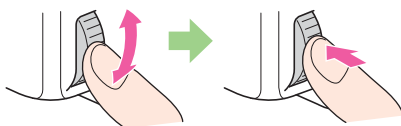
お買い上げいただきありがとうございます。

録画・録音について
- 必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

液晶パネル、ファインダーおよびレンズについて
- 液晶パネルやファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れる、または白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので安心してお使いください。
- 液晶パネルやファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

本書について
液晶パネルやファインダーの映像を説明するのにスチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

本機の扱いかたについて
- 本機は正しく構えて使ってください。

- グリップベルトをしっかりとしめて使ってください。

- 次の部分をつかんで持ち上げないでください。

ファインダー　液晶パネル

バッテリー

- 選択／押 決定ダイヤルを回して、希望の項目を選び、押して決定してください。

目次

はじめにお読みください ... 2

早分かりガイド

動画を撮る ... 6
シンプルに撮る・見る ... 8

準備する

準備 1　付属品を確かめる ... 9
準備 2　バッテリーを充電する ... 10
コンセントにつないで使うときは ... 12
準備 3　電源スイッチを入れる ... 13
準備 4　液晶画面やファインダーを見やすく調節する ... 13
液晶画面を見やすく調節する ... 13
ファインダーを見やすく調節する ... 14
準備 5　時計を合わせる ... 14
準備 6　カセットを入れる ... 16

撮る

動画を撮る ... 17
より長い時間録画する ... 18
ズームする ... 18
ビデオライトを使う ... 19
対面撮影する ... 19
日時を入れる ... 20
シンプルに撮る―シンプル操作 ... 20
明るさを調節する ... 21
逆光補正する ... 21
手動で明るさを調節する ... 22
暗い場所で撮影する―NightShot plus（ナイトショットプラス） ... 22
手動でピントを合わせる ... 23
演出効果を加えて撮る ... 24
効果的な場面転換をする―フェーダー ... 24

目次（つづき）

タイトルを入れる 25
最後に録画した場面を頭出しする—エンドサーチ 27

見る

テープの画像を見る 28
いろいろな再生 29
シンプルに見る—シンプル操作 29
画面表示を出す・消す 30
テレビにつないで見る 31

進んだ使いかた

メニューで設定する

メニューでお買い上げ時の設定を変える 32

M（マニュアル設定）メニューを使う
—プログラム AE・ピクチャーエフェクト・オートシャッター 34

C（カメラ設定）メニューを使う
—ワイド TV・手ぶれ補正など 36

V（ビデオ設定）メニューを使う
—エディット・TBC・DNR 39

（パネル設定）メニューを使う
—パネル明るさ・パネルバックライト・パネル色のこさ 40

（テープ設定）メニューを使う
—録画モード・ORC 設定・残量表示 41

（初期設定）メニューを使う
—日時あわせ・オートデート・メニュー文字サイズ・デモモード 42

ETC（その他）メニューを使う
—時差補正・おしらせブザー・画面表示など 43

ダビングや編集をする

ビデオ機器につなぐ 45

他のビデオへダビングする 46

簡単操作でダビングする
—イージーダビング 46

困ったときは

故障かな？と思ったら 51

警告表示とお知らせメッセージ 57

その他

海外で使う 60

ビデオカセットについて 61

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて 62

取り扱い上のご注意とお手入れ 63

主な仕様 65

保証書とアフターサービス 66

各部のなまえ・索引

各部のなまえ 67

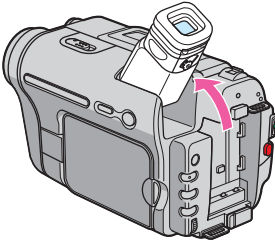
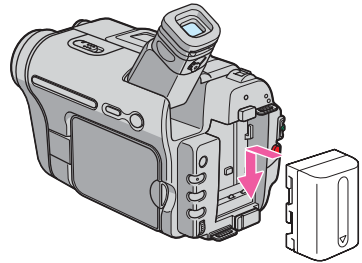
索引 73

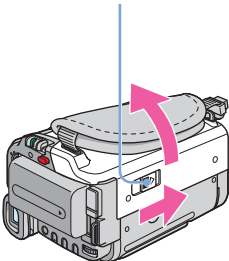
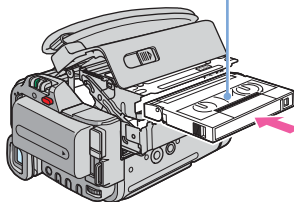
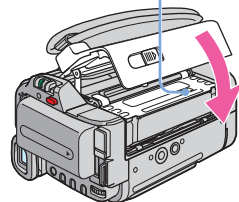
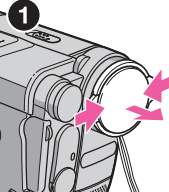
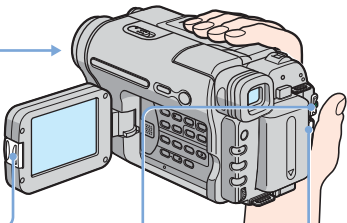
早分かりガイド

動画を撮る

1　充電されたバッテリーを取り付ける。

⇨充電のしかたは10ページ

❶ ファインダーを上げる。

❷ バッテリーをカチッというまで矢印の方向へずらし、取り付ける。

2　カセットを入れる。

❶ OPEN/EJECT（開く／カセット取出し）つまみを矢印の方向へずらしたまま、カセットカバーをカチッというまで開ける。
カセット入れが自動的に出てきます。

❷ テープ窓を上にして、カセットの背の中央を押して入れる。

❸ PUSH マークを押す。
カセット入れが自動的に収納されたらカセットカバーを閉める。

3 液晶画面を見ながら撮影する。

お買い上げ時には日付・時刻の設定がされていません。⇨設定のしかたは14ページ

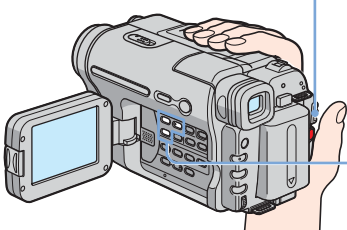
❶ レンズキャップをはずす。
お買い上げ時にはレンズキャップは本機に取り付けてありません（67ページ）。

❷ OPENボタンを押して、液晶パネルを開ける。

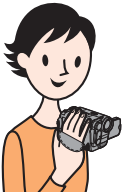
❸ 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを下にずらし、撮るランプを点灯させる。
電源が入ります。

❹ 録画スタート／ストップボタンを押す。
撮影が始まります。
もう一度押すと止まってスタンバイ（撮影待機）になります。

4 液晶画面で見る。

❶ 電源スイッチを繰り返し下にずらし、見る／編集ランプを点灯させる。

❷ （巻戻し）を押して、巻き戻す。

❸ （再生）を押して、再生する。
（停止）を押すと再生が止まります。

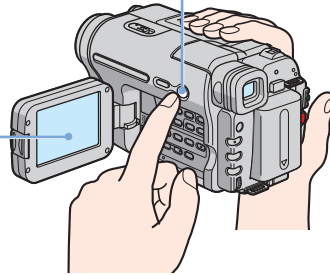
電源を切るには電源スイッチを上にずらして「切（充電）」にします。

シンプルに撮る・見る

シンプル操作に切り換えると、もっと簡単に撮影したり、再生することができます。
シンプル操作を使うと、基本的な操作のみに限定されるため、初めてお使いになる方でも簡単に撮影・再生することができます。

撮影・再生するときに、シンプルボタンを押す。

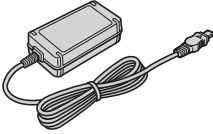
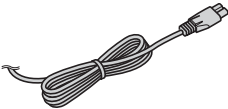
シンプル操作中はボタンが青く点灯します。

シンプル操作中は文字が大きく表示されます。

シンプル操作に設定しました

詳しくは、次の各項目をご覧ください。
撮影するには20ページ、再生するには29ページをご覧ください。

準備1　付属品を確かめる

箱を開けたら、本機のほかに次の物がそろっているか確認してください。
（　）内は個数を表します。

ACアダプター（1）

電源コード（1）

レンズキャップ（1）
取り付けかたは67ページをご覧ください。

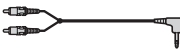
ワイヤレスリモコン（1）
ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

AV接続ケーブル（1）

リチャージャブルバッテリーパック
NP-FM30（1）

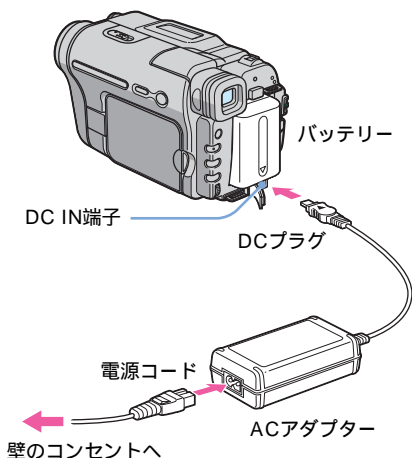
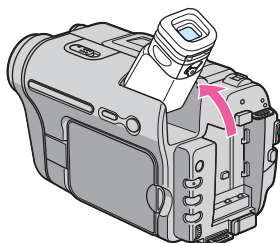
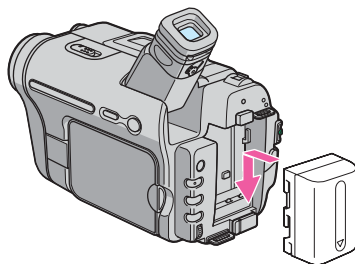
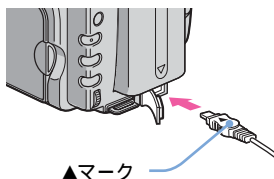
取扱説明書 <本書>（1）

安全のために（1）

保証書（1）

準備2　バッテリーを充電する

専用の“ **インフォリチウム** ” **バッテリー（Mシリーズ）**を本機に取り付けて充電します。

ご注意

- “ インフォリチウム ” バッテリー（Mシリーズ）（62ページ）以外のバッテリーは使えません。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

1 ファインダーを上げる。

2 バッテリーをカチッと音がするまで矢印の方向にずらして取り付ける。

3 DCプラグの▲マークを上に向けて、ACアダプターを本機のDC IN端子につなぐ。

4 電源コードをACアダプターにつなぐ。

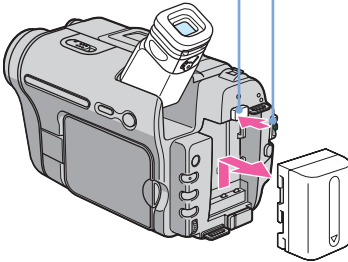
5 電源コードをコンセントにつなぐ。

6 電源スイッチを「切（充電）」にする。

充電ランプが点灯し、充電が始まります。

◆充電が終わると

充電ランプが消えます（満充電）。ACアダプターをDC IN端子から抜く。

◆バッテリーを取り外すには

1 ファインダーを上げる。

2 電源スイッチを「切（充電）」にする。

3 BATT(バッテリー取り外し)ボタンを押しながら、バッテリーを取り外す。

保管するときは

長い間使わないときは、バッテリーを使いきってから保管してください。（保管について詳しくは62ページをご覧ください。）

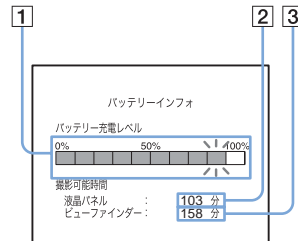
◆バッテリーの残量を確認するには — バッテリーインフォ

充電中や電源を切った状態でバッテリーの充電レベルとそのレベルで撮影可能な時間を確認できます。

1 電源スイッチを「切（充電）」にする。

2 OPENボタンを押して、液晶パネルを開ける。

3 画面表示／バッテリーインフォボタンを押す。

バッテリーの情報を約7秒間表示します。押し続けると、約20秒間表示します。

1 バッテリー充電レベル：およそのバッテリー残量

2 液晶パネル使用時のおよその撮影可能時間

3 ファインダー使用時のおよその撮影可能時間

次のページへつづく➡

◆充電時間

使い切ったバッテリーを25℃（10〜30℃が推奨）で充電したときのおよその時間(分)です。

バッテリー型名	満充電時間
NP-FM30（付属）	145
NP-FM50	150
NP-QM71/QM71D	260
NP-QM91/QM91D	360

◆液晶画面での撮影可能時間

満充電のバッテリーを使って25℃で撮影したときのおよその時間(分)です。

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-FM30（付属）	115	55
NP-FM50	185	90
NP-QM71/QM71D	445	220
NP-QM91/QM91D	670	335

◆ファインダーでの撮影可能時間

満充電のバッテリーを使って25℃で撮影したときのおよその時間(分)です。

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-FM30（付属）	175	85
NP-FM50	280	135
NP-QM71/QM71D	675	330
NP-QM91/QM91D	1010	495

* 録画やスタンバイ、電源スイッチの切り換え 、ズームなどを繰り返したときの時間で、実際にはこれよりも短くなることもあります。

◆再生可能時間

満充電のバッテリーを使って25℃で再生したときのおよその時間(分)です。

バッテリー型名	液晶パネルで再生	液晶パネルを閉じて再生
NP-FM30（付属）	115	185
NP-FM50	185	295
NP-QM71/QM71D	445	715
NP-QM91/QM91D	670	1070

ご注意

- 電源コードをコンセントから抜いてもACアダプターがDC IN端子につながれている限り、バッテリーからは電源供給されません。
- 低温の場所で使うと、撮影・再生時間はそれぞれ短くなります。
- 次のとき、充電中の充電ランプが点滅する、またはバッテリーインフォが正しく表示されないことがあります。
  - バッテリーを正しく取り付けていないとき
  - バッテリーが故障しているとき
  - バッテリーが消耗しているとき（バッテリーインフォ表示のみ）

コンセントにつないで使うときは

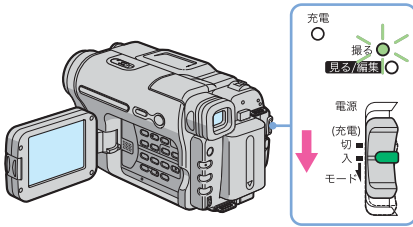
バッテリーが切れることを心配しないで使えます。また、バッテリーを取り付けたまま使っても、バッテリー自身は消耗しません。

「バッテリーを充電する」（10ページ）と同じ方法で接続して使う。

準備3　電源スイッチを入れる

撮影や再生をするときは、電源スイッチをそれぞれの電源モードに切り換えます。
初めて電源を入れたときは、[日時あわせ]画面が表示されます（14ページ）。

緑のボタンを押しながら、電源スイッチを矢印の方向にずらす。

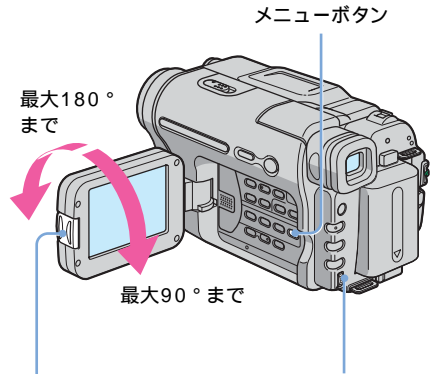
電源が入ります。
撮影や再生をするときは、該当のランプが点灯するまで、電源スイッチを繰り返し矢印の方向にずらして、電源モードを切り換えます。

- 「撮る」モード：撮影するとき
- 「見る／編集」モード：画像を再生・編集するとき

◆電源を切るには

電源スイッチを「切（充電）」へずらす。

準備4　液晶画面やファインダーを見やすく調節する

液晶画面を見やすく調節する

液晶パネルは使用状況にあわせて見やすい角度や明るさに調節できます。運動会などで被写体が人垣の向こう側で見えないときでも、パネルの角度を変えれば映像を液晶画面で確認しながら撮影できます。

90°に開ききった状態で、好みの角度に調節する。

◆液晶画面の明るさを調節するには

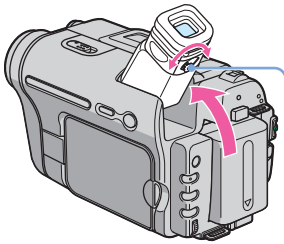
1. メニューボタンを押す。
2. 選択／押 決定ダイヤルを回して、（パネル設定）を選び、押して決定する。
3. 選択／押 決定ダイヤルを回して、[パネル明るさ]を選び、押して決定する（40ページ）。
4. 選択／押 決定ダイヤルで液晶画面の明るさを調節し、押して決定する。
5. メニューボタンを押す。

次のページへつづく➡

ちょっと一言

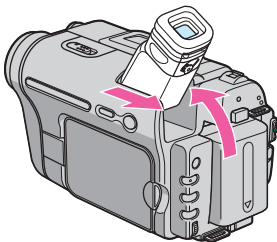
- 液晶画面をレンズ側に180 °回転させると、外側に向けて本体に収められます。
- バッテリー使用時は、(パネル設定)メニューの［パネルバックライト］でも調節できます(40ページ)。
- 調節しても記録される画像に変化はありません。
- ETC(その他)メニューの［おしらせブザー］を［切］にすると、操作音を消せます(43ページ)。

ファインダーを見やすく調節する

液晶パネルを閉じると、ファインダーで画像を見ることができます。バッテリー切れが心配なときや、液晶画面が見づらいときはファインダーを使います。

1 ファインダーを上げる。

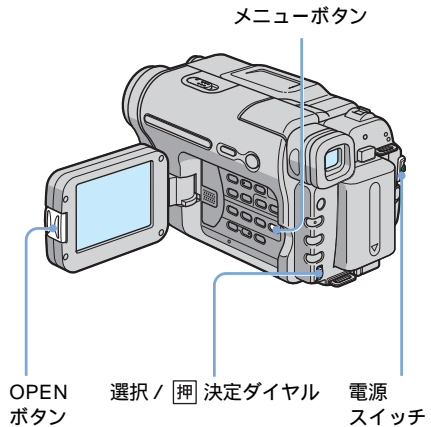
2 画像がはっきり見えるように視度調整つまみを動かす。

◆高容量のバッテリーを使うときは

高容量のバッテリー(NP-QM71/QM71D/QM91/QM91D)を使うときは、ファインダーをのばし、見やすい角度に上げてください。

準備5　時計を合わせる

本機を初めて使うときは日付・時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れるたびに［日時あわせ］画面が表示されます。

ご注意

- 3ヶ月近く使わないでおくと内蔵の充電式ボタン電池が放電して、日付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合、充電式ボタン電池を充電してから設定し直してください(65ページ)。

電源を入れる(13ページ)。

OPENボタンを押して、液晶パネルを開ける。
初めて時計を合わせるときは手順6に進んでください。

3 メニューボタンを押す。

マニュアル設定　スタンバイ
プログラムAE
ピクチャーエフェクト
オートシャッター
ETC
[メニュー]で終了

4 選択／押 決定ダイヤルを回して、(初期設定) を選び、押して決定する。

5 選択／押 決定ダイヤルを回して、[日時あわせ] を選び、押して決定する。

6 選択／押 決定ダイヤルを回して、[年] を合わせ、押して決定する。

2079年まで設定できます。

7 手順6と同様に、[月]、[日]、[時]、[分] を合わせ、押して決定する。

真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PM。
時計が動き始めます。

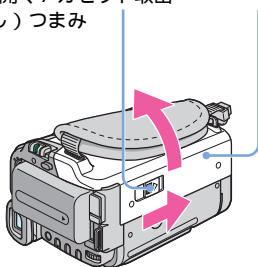
◆日付・時刻を確認するには

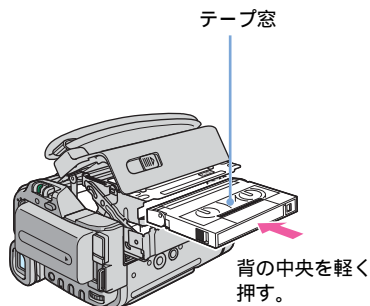
日付を確認するには、日付ボタンを押し、時刻を確認するには、時刻ボタンを押します。
日付と時刻を同時に確認するには、日付ボタンと時刻ボタンを押します。
表示を消すには、もう一度ボタンを押します。

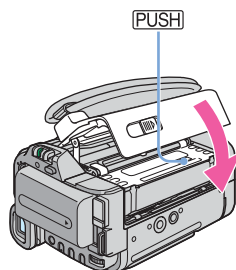
準備6　カセットを入れる

本機ではHi8（ハイエイト）テープ Hi8 とスタンダード8ミリテープ 8 が使えます。
Hi8（ハイエイト）方式で記録するときは、Hi8 マークのついたHi8テープを使います。
誤消去防止方法など、カセットについてより詳しいことは、61ページをご覧ください。

ご注意
- カセット入れを無理に押し込まないでください。故障の原因になります。

1 OPEN/EJECT（開く／カセット取出し）つまみを矢印の方向にずらしたまま、カセットカバーをカチッというまで開ける。

カセット入れが自動的に出て開きます。

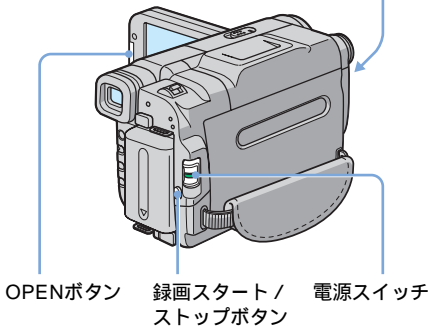
2 テープ窓を上にして、カセットを入れる。

3 PUSH マークを押す。

カセット入れが自動的に収納されます。

4 カセットカバーを手で閉める。

◆カセットを取り出すには

1. OPEN/EJECT（開く／カセット取出し）つまみを矢印の方向にずらしたまま、カセットカバーを開ける。
   カセット入れが自動的に出てきます。
2. カセットを取り出し、PUSH マークを押す。
   カセット入れが自動的に収納されます。
3. カセットカバーを手で閉める。

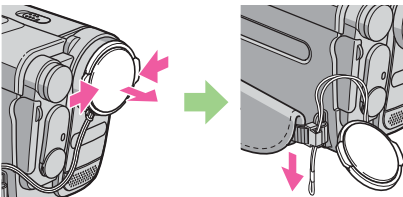
動画を撮る

あらかじめ準備1～6（9～16ページ）を行っておいてください。
モノラル音声で記録されます。

ご注意

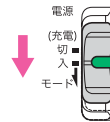
- 1日1回、撮影の初めの10秒間に撮影日が自動的に記録されます（オートデート機能）。詳しくは42ページをご覧ください。

ちょっと一言

- シンプル操作を使うと、初めてお使いになる方でも簡単に撮影することができます。詳しくは20ページをご覧ください。

1 レンズキャップをはずし、ひもを下に引っ張り、グリップに固定する。

2 OPENボタンを押して、液晶パネルを開ける。

3 電源スイッチをずらして、撮るランプを点灯させる。

スタンバイ（撮影待機）になります。

緑のボタンを
押しながら
ずらす。

4 録画スタート／ストップボタンを押す。

録画が始まり、画面に［●録画］が表示され、録画ランプも点灯します。もう一度押すと、録画が停止します。

◆撮影が終わったら

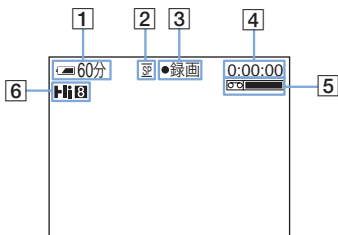
電源スイッチを上にずらして「切（充電）」にする。

ちょっと一言

長い間使わないときは、カセットを取り出して保管してください。

次のページへつづく➡

◆撮影中の画面表示

画面表示は録画されません。

1 バッテリー残量と連続撮影時間の目安
使用状況・環境によっては正しく表示されないことがあります。液晶パネルを開閉したときは正しい残量時間を表示するまで約1分かかります。

2 録画モード（SPまたはLP）

3 撮影状態（[スタンバイ］または［●録画]）

4 テープカウンター
カウンターを「0：00：00」にするときは、カウンターリセットボタンを押します（69ページ）。

5 テープ残量
カセットを入れてしばらく走行させると表示されます。

6 録画方式
Hi8（ハイエイト）方式のときに表示されます。

ご注意

- バッテリーの交換は、電源スイッチを「切（充電）」にしてから行ってください。
- お買い上げ時は、電源を入れて何もしない状態が約5分以上続くと、バッテリー消耗防止のため、自動的に電源が切れます（[自動電源オフ]、43ページ）。撮影を再開するときは、電源スイッチを下にずらして「撮る」に戻し、もう一度録画スタート／ストップボタンを押します。

ちょっと一言

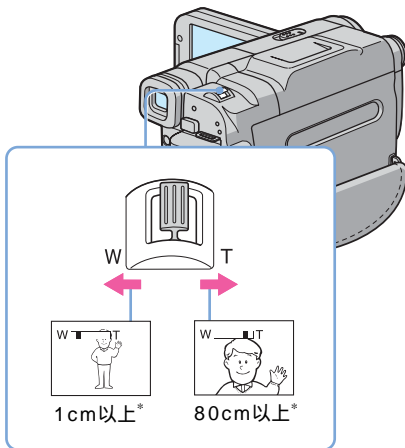
- テープできれいにつないで撮影するには、次の点に気をつけてください。
  - カセットを取り出さない（電源を切ってもきれいにつなぎ撮りできます）。
  - 同じテープにSPとLPの両モードを混ぜてつなぎ撮りしない。
  - LPモードでつなぎ撮りしない。

より長い時間録画する

◆より長く録画するには

（テープ設定）メニューで［録画モード］を［LP］（長時間）にする（41ページ）。
SP（標準）モードの2倍録画できます。本機のLPモードで録画したテープは本機で再生してください。

ズームする

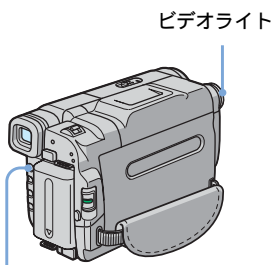
電源スイッチが「撮る」のときは20倍を越えると、デジタルズームが働くようにメニューで設定できます（[デジタルズーム]、(36ページ))。
ズームを使いすぎると見づらい画面になるため、効果的にズームしてください。

* ピントが合うのに必要な被写体との距離

ズームレバーを軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームする。

広角にするとき
ズームレバーを「W」の方向へ動かす。
被写体が小さくなります。広角＝Wide（ワイド）。

望遠にするとき
ズームレバーを「T」の方向へ動かす。
被写体が大きくなります。望遠＝Telephoto（テレフォト）。

ビデオライトを使う

撮影状況に応じて、ビデオライトをお使いください。被写体との距離を約1.5mとってください。

ライトボタンを押して、設定を選ぶ。

設定の表示は次の順で変わります。

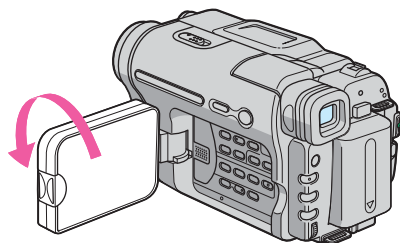
表示なし：ビデオライトを使用しないで撮影します。
↓
AUTO：周囲の明るさによってビデオライトが自動で点灯／消灯します。
↓
ON：ビデオライトが点灯します。

◆ビデオライトを消すには

ライトボタンを押し、表示を消す。

ご注意
- ビデオライトは非常に明るい光です。安全には問題ありませんが、至近距離から直接目に光を向けてお使いにならないでください。
- ビデオライト点灯中は、バッテリーが早く消耗します。
- 本機をお使いにならないときは、誤ってビデオライトが点灯しないようにビデオライトを消して、バッテリーを取り外してください。
- AUTOにして撮影していると、ビデオライトが点灯したり消灯したりすることがあります。このような場合にはライトボタンを押して、ONにしてください。
- AUTOにして［プログラムAE］や逆光補正を行っているとき、ビデオライトは自動で点灯したり消灯したりします。
- 別売りのコンバージョンレンズをご使用になる場合は、コンバージョンレンズがビデオライトの光をさえぎり、被写体にうまく光が当たらないことがあります。

対面撮影する

液晶パネルを相手に向けながら撮影すれば、撮影する側、撮影される側の両方で撮影中の画面を確認できます。小さい子供を撮影するときにカメラのほうへ注目させたり、撮影者が自分自身を撮影したりするときなどにも使えます。

液晶パネルを90°まで開いてから、180°回転して被写体に向ける。

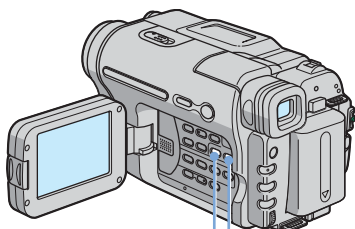
液晶画面には左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。

ご注意
- ファインダーと液晶画面に☺が出ます。撮影スタンバイ中には❚❚●、撮影中には●が表示されます。その他の表示では左右が反転するものもあります。また、表示が出ないものもあります。
対面撮影中は、日付・時刻ボタンは働きません。

撮る

次のページへつづく➡

日時を入れる

画面の右端に日付や時刻を記録します。

日付ボタン、または時刻ボタンを押す。

日付と時刻、両方を記録することもできます。
表示を消すには、もう一度ボタンを押します。
お買い上げ時には、日付や時刻の設定はされていません。お使いになる前に、日付や時刻を合わせてください（14ページ）。

ご注意

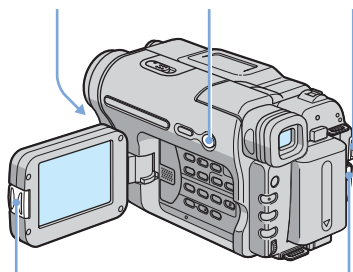
- 一度記録した日付や時刻は消せません。

ちょっと一言

- 画像に日付や時刻を重ねて記録しないときは、あらかじめ10秒ほど黒画面を背景に日時のみを記録し、本番の撮影のときは、日付や時刻を消しておくことをおすすめします。

シンプルに撮る

―シンプル操作

シンプル操作を使うと、ほとんどのカメラ設定がオートに固定され、基本的な操作のみ行えるようになるため、初めてお使いになる方でも簡単に撮影することができます。また、表示が大きくなり見やすくなります。
あらかじめ準備1～6（9～16ページ）を行っておいてください。

ちょっと一言

- シンプル操作で無効なボタンの横には●印が付いています。また、シンプル操作中にメニューボタンを押すと、設定可能な項目のみ表示されます。

1 レンズキャップをはずし、ひもを下に引っ張り、グリップに固定する。

2 OPENボタンを押して、液晶パネルを開ける。

3 電源スイッチをずらして、撮るランプを点灯させる。

スタンバイ（撮影待機）になります。

緑のボタンを
押しながら
ずらす。

4 シンプルボタンを押す。

シンプルボタンが青色に点灯します。

シンプル操作に設定しました

5 録画スタート／ストップボタンを押す。

録画が始まり、画面に［●録画］が表示され、録画ランプも点灯します。もう一度押すと、録画が停止します。

◆撮影が終わったら

電源スイッチを上にずらして「切（充電）」にする。

◆シンプル操作を解除するには

シンプルボタンをもう一度押す。

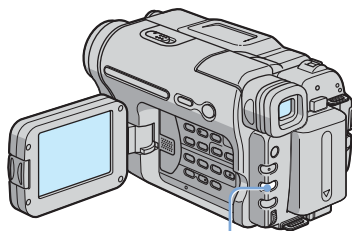
ご注意

- 撮影中は、シンプル操作への切り換えやシンプル操作から通常操作への切り換えができません。
- シンプル操作に切り換えると、メニュー画面に表示されない項目は、初期設定に戻ります。シンプル操作を解除すると、シンプル操作の操作前の状態に戻ります。

明るさを調節する

お買い上げ時は自動で画像の明るさが調節される設定になっています。

逆光補正する

被写体の後ろに太陽などの光源があり（逆光）、被写体が陰になるときに使います。

逆光補正ボタンを押す。

が表示されます。

逆光補正を解除するには、もう一度逆光補正ボタンを押します。

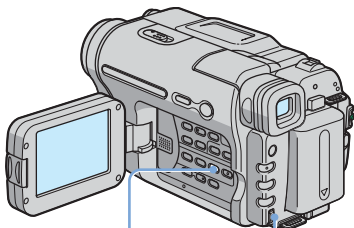
ご注意

- 明るさボタンを押すと、逆光補正は解除されます。

撮る

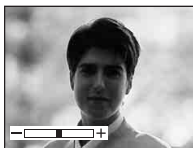
次のページへつづく➡

手動で明るさを調節する

画像の明るさを手動で固定して、一定の明るさで撮影できます。例えば日中に屋内で撮影するときに壁側で明るさを固定すれば、窓際の人物が逆光で暗く映るのを防げます。

明るさボタン　選択／押 決定ダイヤル

1 明るさボタンを押す。

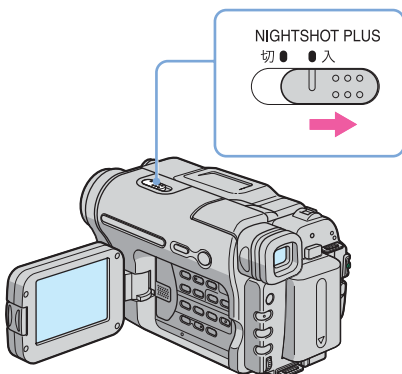
明るさ表示が出ます。

2 選択／押 決定ダイヤルを回して、明るさを調整する。

明るさ調整が手動に設定されているときは、が画面の左下に表示されます。

◆自動調節に戻すには

明るさボタンを押す。

暗い場所で撮影する
—NightShot plus（ナイトショットプラス）

子供の寝顔を撮影するときなど、暗いままで被写体を撮影するときは、赤外線を利用したNightShot plusが便利です。

NIGHTSHOT PLUSスイッチを「入」にする。

と［"NIGHTSHOT PLUS"］が表示されます。NightShot plusを解除するには、NIGHTSHOT PLUSスイッチを「切」にします。

ご注意

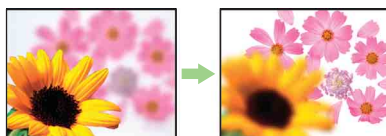
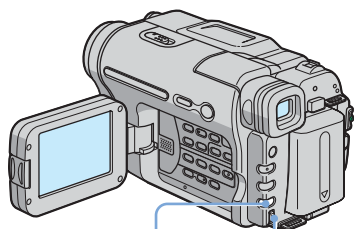
- 明るい場所でNightShot plusを使うと、故障の原因になります。
- 次の設定のとき、NightShot plusは働きません。
  - ー［プログラムAE］
  - ー カメラ明るさ
- フォーカスが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください。
- 指などで赤外線発光部を覆わないでください。同様に、コンバージョンレンズ（別売り）ははずしてください。
- 撮影条件によって正しい色が表現できないことがあります。

💡 ちょっと一言

- 真っ暗な状態では［N.S.ライト］を［入］にすることをおすすめします。ライトの届く範囲は約3mです。夜景や月明かりなどの薄暗い場所では［切］にして撮影すると、被写体の色味を濃くすることができます（38ページ）。

手動でピントを合わせる

お買い上げ時は自動でピントが合う設定になっています。
撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。
以下のようなときに使います。

ー水滴の付いた窓の向こうの被写体
ー横じまの多い被写体
ー背景とコントラストの弱い被写体
ー意図的にピントを手前の被写体から奥の被写体に送るとき

ー三脚で撮影する静止した被写体

1 フォーカスボタンを押す。

Ⓕが表示されます。

次のページへつづく➡

撮る

2 選択／押 決定ダイヤルを回し、ピントが合うように調節する。

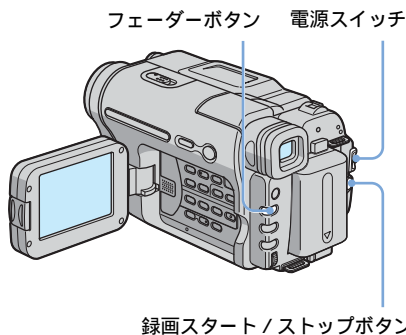
は、ピントをそれ以上遠くに合わせられないとき ▲ に変わり、それ以上近くに合わせられないとき 👤 に変わります。

ピント合わせのコツ

- ズーム機能を使うと、ピント合わせに便利です。始めにズームをT側（望遠）でピントを合わせてから、W側（広角）に戻していきます。
- 接写時は、逆にズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。

◆自動ピント合わせに戻すには

フォーカスボタンをもう一度押す。

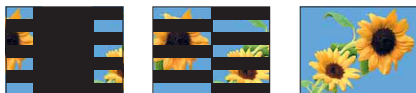
演出効果を加えて撮る

効果的な場面転換をする —フェーダー

場面と場面の間に、次のような効果を入れながらつなぎ撮りするときに使います。

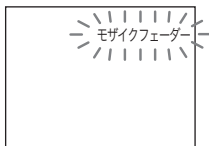
[ホワイトフェーダー]

[ブラックフェーダー]

[モザイクフェーダー]

［ストライプフェーダー］

［モノトーンフェーダー］
フェードインは、白黒からカラーに、フェードアウトはカラーから白黒になります。

1 電源スイッチを「撮る」にする。

2 スタンバイ中（フェードインのとき）または撮影中（フェードアウトのとき）に、フェーダーボタンを繰り返し押し、希望の効果を選ぶ。

3 録画スタート／ストップボタンを押す。

フェーダー表示が点灯に変わり、フェード終了後に消えます。

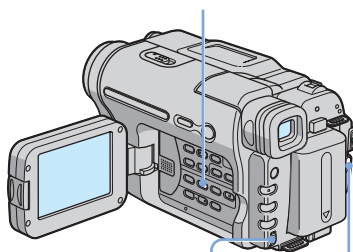
◆フェードイン・フェードアウトを解除するには

手順2でフェーダー表示が消えるまでフェーダーボタンを押す。

ご注意

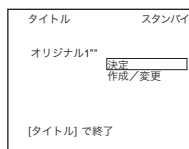
- 日付や時刻表示、タイトルはフェードしません。不要の場合は日付、時刻表示、タイトルを消してから行ってください。

タイトルを入れる

撮影中にタイトルを入れることができます。本機にあらかじめ登録してある8種類のタイトルとオリジナルタイトル２種類の中から選ぶことができます。

1 電源スイッチを「撮る」にする。

2 タイトルボタンを押す。

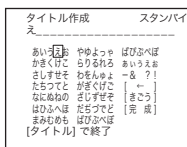
以前作成した2種類のタイトルと、本機にあらかじめ登録されているタイトルの中から希望のタイトルを選びます。以下の手順で、20文字以内の2種類のオリジナルタイトルを本機に記録できます。

1 選択／押 決定ダイヤルを回して［オリジナル1""］あるいは［オリジナル2""］を選び、押して決定する。

2 選択／押 決定ダイヤルを回して［作成／変更］を選び、押して決定する。

次のページへつづく➡

撮る

3 選択／押 決定ダイヤルを回して希望の文字列を選び、押して決定する。

4 選択／押 決定ダイヤルを回して希望の文字を選び、押して決定する。

文字を消すとき：[←] を選んでください。
空白を入れるとき：[Z& ? !] の & と？の間の空白部分を選んでください。
アルファベットや数字を選ぶとき：[きごう] を選んでください。

5 手順3、4を繰り返して希望のタイトルを作成する。

6 選択／押 決定ダイヤルを回して、[完成] を選び、押して決定する。
タイトルが記録されます。

ちょっと一言
- 電源スイッチを「見る／編集」にしてもタイトルを作成できます。

3 選択／押 決定ダイヤルを回して入れたいタイトルを選び、押して決定する。

オリジナルタイトルを入れるには、選択／押 決定ダイヤルを回して［オリジナル1""］あるいは ［オリジナル2""］を選び、ダイヤルを回して［決定］を押して決定する。

4 タイトルの色、サイズ、位置を設定する。

選択／押 決定ダイヤルを回して［色設定］、［サイズ設定］、［位置設定］のいずれかを選び、押して決定する。
選択／押 決定ダイヤルを回して希望の項目を選び、押して決定する。
手順１と２を繰り返して希望のタイトルを作る。

[色設定]
［しろ］↔［きいろ］↔［むらさき］↔［あか］↔［みずいろ］↔［みどり］↔［あお］

[サイズ設定]
［ちいさい］↔［おおきい］
13文字以上のときは［ちいさい］のみ設定できます。

[位置設定]
8段階～9段階から選べます。

5 選択／押 決定ダイヤルを回して、［決定］を選び、押して決定する。

タイトルが表示されます。

6 録画スタート／ストップボタンを押す。

7 タイトルを消したい場面でもう一度タイトルボタンを押す。

◆撮影の途中でタイトルを入れるには

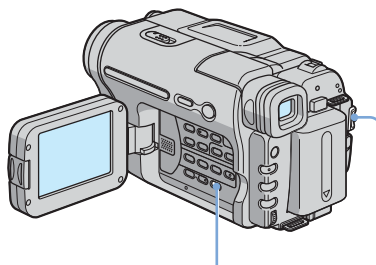
撮影中にタイトルボタンを押し、手順2～４を行う。手順４で選択／押 決定ダイヤルを押したとき、タイトルが記録される。

ご注意
メニュー画面を表示している間はタイトルは記録されません。
タイトルの選択／設定操作をしているときは、画面に出ているタイトルは記録されません。
撮影の途中でタイトルを入れるときは、お知らせブザーは鳴りません。
お買い上げ時の設定は、バッテリー使用時に電源を入れて、何も操作しない状態がつづくと自動的に電源が切れます。タイトル作成に5分以上かかるときは、ETC（その他）メニューで［自動電源オフ］を［なし］にすると、電源は切れません（43ページ）。万が一、途中で電源が切れても、作成中のタイトルは残っているので、電源を入れ直して、手順2からやり直してください。
タイトルのサイズや位置によっては、日付や時刻が表示されないことがあります。

ちょっと一言

- 作成したオリジナルタイトルを変更するには、手順２で変更したいオリジナルタイトルを選びます。選択／押 決定ダイヤルを回して、［作成／変更］を選び、押して決定してから文字を選び直してください。

最後に録画した場面を頭出しする
—エンドサーチ

現在のテープ位置に関係なく、最後に録画終了した場面からつなぎ撮りするときに便利です。カセットをいったん取り出すとエンドサーチは働きません。

1 電源スイッチを「撮る」にする。

2 エンドサーチボタンを押す。
最後に録画した場面の約5秒間が再生され、録画終了した場面でスタンバイになります。

◆エンドサーチを中止するには

エンドサーチボタンをもう一度押す。

ご注意

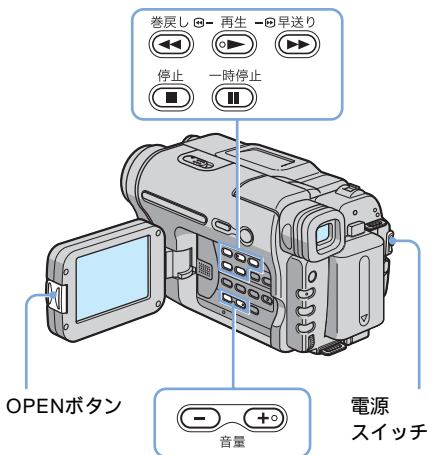
- テープの途中に無記録部分があると、エンドサーチが正しく働かない場合があります。

ちょっと一言

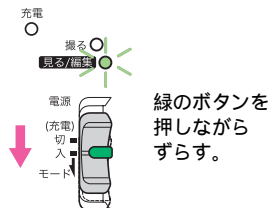
- 電源スイッチが「見る／編集」のときもエンドサーチができます。

撮る

テープの画像を見る

あらかじめカセットを入れておいてください。
テレビで見るときは31ページをご覧ください。
再生操作はリモコンでも行えます。

ちょっと一言
- シンプル操作を使うと、初めてお使いになる方でも簡単に画像を見ることができます。詳しくは29ページをご覧ください。

1 OPENボタンを押して、液晶パネルを開ける。

2 電源スイッチを「見る／編集」にする。

3 (巻戻し)を押して、見たい位置まで巻き戻す。

4 (再生)を押して、再生する。

◆音量を調節するには

以下の音量ボタンを押してください。
液晶パネルを閉じると、音が出ません。
−：音量が小さくなる
+：音量が大きくなる

◆再生を停止するには

(停止)を押す。

◆一時停止するには

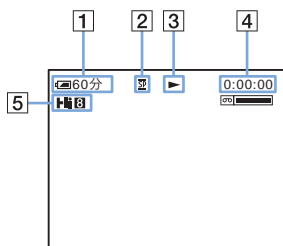
再生中に(一時停止)を押す。
(一時停止)または(再生)を押すと、ふつうの再生に戻ります。
一時停止状態が数分間続くと、自動的に停止になります。

◆早送り・巻き戻しするには

停止中に(早送り)／(巻戻し)を押す。

◆ファインダーで見るには

液晶パネルを閉じる。

◆テープ再生中の表示

1 バッテリー残量

2 録画モード（SPまたはLP）

3 テープ走行表示

4 テープカウンター（時：分：秒）

5 録画方式

Hi8（ハイエイト）方式のときに表示されます。

いろいろな再生

◆画像を見ながら早送り・巻き戻しするには － ピクチャーサーチ

再生中に（早送り）／（巻戻し）を押し続ける。

離すと、ふつうの再生に戻ります。

◆早送り・巻き戻し中に画像を見るには － 高速アクセス

早送り中に（早送り）、巻き戻し中に（巻戻し）を押し続ける。

離すと、ふつうの早送り・巻き戻しに戻ります。

◆スロー画を見る

再生中にリモコンの▮►スローボタンを押す。

再生ボタンを押すとふつうの再生に戻ります。

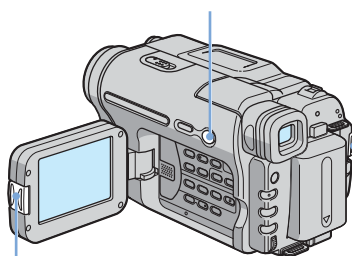
ご注意

- スロー再生は1分以上続くと自動的にふつうの再生に戻ります。
- LPモードで録画したテープを以下の方法で再生すると、液晶画面にノイズが出ることがあります。
  - － スロー再生
  - － 一時停止
  - － ピクチャーサーチ

シンプルに見る

—シンプル操作

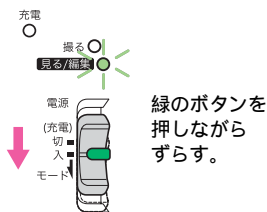
シンプル操作を使うと、基本的な操作のみに限定されるため、初めてお使いになる方でも簡単に画像を見ることができます。また、表示が大きくなるため見やすくなります。

あらかじめカセットを入れておいてください。

ちょっと一言

- シンプル操作で無効なボタンの横には●印が付いています。また、シンプル操作中にメニューボタンを押すと、設定可能な項目のみ表示されます。

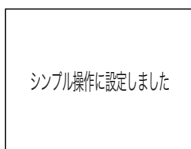
1 OPENボタンを押して、液晶パネルを開ける。

2 電源スイッチを「見る／編集」にする。

緑のボタンを押しながらずらす。

次のページへつづく➡

3 シンプルボタンを押す。

シンプルボタンが青色に点灯します。

シンプル操作に設定しました

4 テープを再生する。

以下のボタンを操作することができます。

(再生)

(停止)

(一時停止)

(早送り)

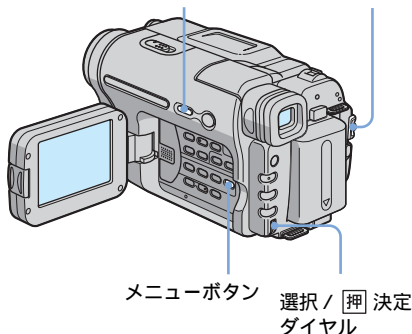
(巻戻し)

リモコンでは上のボタンと▮►（スロー再生）を操作することもできます。

◆シンプル操作を解除するには

シンプルボタンをもう一度押す。

画面表示を出す・消す

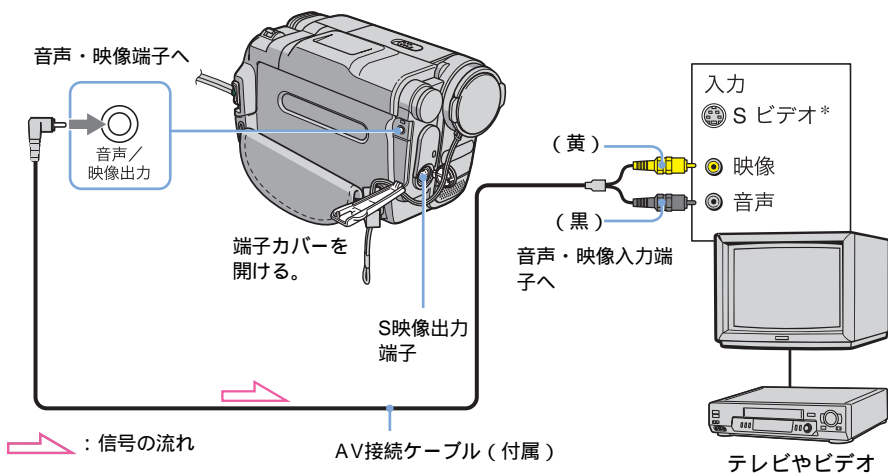
テープカウンターなどの画面表示を画像とあわせて表示できます。

画面表示／バッテリーインフォボタンを押す。

押すたびに、（表示）←→（非表示）と変わります。

ちょっと一言

- リモコンの画面表示ボタンを押しても、液晶画面に表示が出ます。
- テレビにつないで見るときは、ETC（その他）メニューで［画面表示］を［ビデオ出力／パネル］に設定すると、テレビ画面でも同様に画面表示できます（43ページ）。

テレビにつないで見る

AV接続ケーブル（付属）で図のように本機をテレビにつなぎます。
電源は付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（10ページ）。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
ダビングするときは46ページをご覧ください。

＊ 別売りのS映像ケーブルを使うと、画像をより忠実に再現できます。接続先の機器にS映像端子が付いているときは、AV接続ケーブルの黄色いプラグ（映像）の代わりに別売りのS映像ケーブルで本機のS映像出力端子と接続先の機器のS映像端子をつないでください。
S映像ケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。

◆ビデオがテレビにつながっているときは

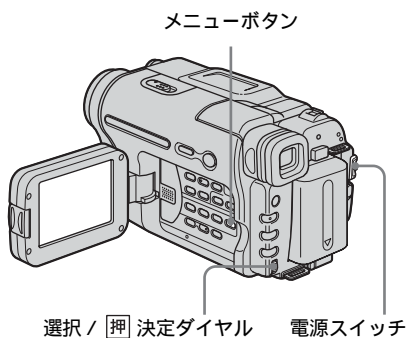
ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオの入力を「外部入力（ライン）」に切り換える。

◆ステレオテレビ（音声端子がふたつ）のときは

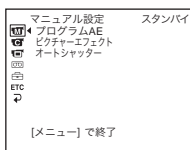
AV接続ケーブル（付属）の黒いプラグ（音声）をテレビにある音声入力の左音声側（白）につなぎます。

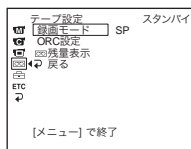
メニューで設定する

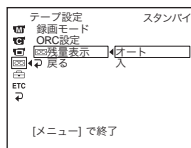
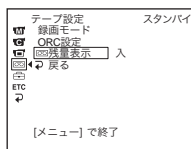
メニューでお買い上げ時の設定を変える

画面に表示されるメニューで、お好みの設定やより細かい設定ができます。

1 電源を入れる（13ページ）。

2 メニューボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

3 選択／押 決定ダイヤルを回して、希望のメニューを選び、押して決定する。

- マニュアル設定（34ページ）
- カメラ設定（36ページ）
- ビデオ設定（39ページ）
- パネル設定（40ページ）
- テープ設定（41ページ）
- 初期設定（42ページ）
- ETC その他（43ページ）

4 選択／押 決定ダイヤルを回して、希望の項目を選び、押して決定する。

設定できる項目は電源スイッチの位置ごとに異なります。選択できない項目はグレー表示になります。

5 選択／押 決定ダイヤルを回して、希望のモードを選び、押して決定する。

6 メニューボタンを押して、メニュー画面を消す。

メニュー項目を変える場合には、[↩ 戻る] を選び、ダイヤルを押し、手順3～5を繰り返します。

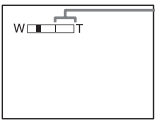
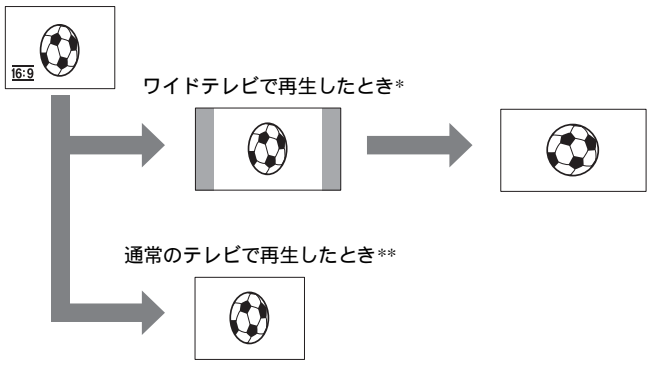
（マニュアル設定）メニューを使う

―プログラムＡＥ・ピクチャーエフェクト・オートシャッター

(マニュアル設定)メニューでは、「メニューでお買い上げ時の設定を変える」（32ページ）の操作で以下を設定できます。

▷の設定がお買い上げ時の設定です。調整できる項目は、電源スイッチの位置ごとに異なります。そのとき使える項目が表示されます。使えない項目はグレー表示になります。

項目	設定
プログラムＡＥ	撮影テクニックが必要な撮影状況でも、場面に合わせて以下の設定を行えば簡単に撮影できます。 ▷オート　プログラムAEを使わないときに選びます。 スポットライト（）* 結婚式や舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに選びます。人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。 ソフトポートレート（） 人物、花などを撮影するときに選びます。背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。 スポーツレッスン（）* ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに選びます。被写体のぶれを少なくします。 ビーチ＆スキー（）* 真夏の砂浜や冬山（スキー場）などの照り返しが強い場所で撮影するときに選びます。人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。 サンセット＆ムーン（）** 夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに選びます。雰囲気を損なわずに撮影できます。 フウケイ（）** 山などの遠くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせます。風景を窓ガラスや金網越しに撮影する場合、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。 *近くのものにピントが合わないように調節されます。 **遠景のみにピントが合うように調節されます。

項目	設定
プログラムAE（つづき）	ご注意 • NIGHTSHOT PLUSスイッチを「入」にしているとき、［プログラムAE］は使えません。（表示が点滅します。）
ピクチャーエフェクト	映画のような特殊効果を加えた画像を撮影できます。効果が選ばれているとき、P✦が表示されます。 ▷切：ピクチャーエフェクトを使わないときに選びます。 ネガアート：写真のネガフィルムのように撮影するときに選びます。 セピア：古い写真のような色あいで撮影するときに選びます。 モノトーン：白黒で撮影するときに選びます。 ソラリ：明暗をはっきりさせたイラストのように撮影するときに選びます。 スリム：縦に引き伸ばしたように撮影するときに選びます。 ストレッチ：横に引き伸ばしたように撮影するときに選びます。 パステル：淡い色のパステル画のように撮影するときに選びます。 モザイク：タイルを組み合わせたように撮影するときに選びます。
オートシャッター	▷入：明るい場所で、電子シャッター（電気的にシャッタースピードを調節する機能）を使って撮影するときに選びます。 切：電子シャッターを使わずに撮影するときに選びます。

(カメラ設定)メニューを使う

—ワイドTV・手ぶれ補正など

(カメラ設定)メニューでは、「メニューでお買い上げ時の設定を変える」(32ページ)の操作で以下を設定できます。

▷の設定がお買い上げ時の設定です。調整できる項目は、電源スイッチの位置ごとに異なります。そのとき使える項目が表示されます。使えない項目はグレー表示になります。

項目	設定
デジタルズーム	テープに撮影するとき、20倍光学ズームを超えた場合のデジタルズームの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。野鳥など遠方の被写体を拡大するときに便利です。 ラインよりT側がデジタルズームになります。倍率を選ぶと表示されます。 ▷切　20倍光学ズームのみで撮影するときに選びます。 40×　最大40倍までのデジタルズームで撮影するときに選びます。 240×　最大240倍までのデジタルズームで撮影するときに選びます。
ワイドTV	ワイドテレビで見るときに、テープの画像が画面いっぱいに映るように撮影できます。 ID-1対応テレビにつないで再生すると、テレビが自動的にワイドモードに切り換わります。 つなぐテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。 ワイドシネマモード 液晶画面・ファインダーで見たとき 16:9 ワイドテレビで再生したとき* 通常のテレビで再生したとき**

項目	設定
	ワイドフルモード 液晶画面・ファインダーで見たとき 16:9 ワイドテレビで再生したとき* 通常のテレビで再生したとき** * ワイドテレビがフルモードに切り換わると、画面いっぱいに正しい比率で映ります。 **4：3モードで再生すると液晶画面・ファインダーで見たときと同じように映ります。 ▷切：通常の画面設定です（縦横比4：3のテレビで再生するときなど）。横長の画面になりません。 ワイドシネマ（16:9）：ワイドシネマモードで再生するために撮影するときに選びます。 ワイドフル（16:9）：ワイドフルモードで再生するために撮影するときに選びます。 ちょっと一言 • ID-1方式は、ビデオ信号のすきまに信号を加算することにより、画面の縦横比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を通信するシステムです。 • ［ワイドフル］で撮影したとき、日付・時刻表示をワイドテレビで見ると横長の文字になります。 • ［ワイドフル］にすると、手ぶれ補正は働きません。手ぶれ補正が働いているときにメニューで［ワイドフル］にすると が点滅し、手ぶれ補正は働かなくなります。
手ぶれ補正	▷入：手ぶれ補正を使って撮影するときに選びます。手ぶれ補正が働かない機能のときは、 が表示されます。 切（OFF）：手ぶれ補正が働きません。 コンバージョンレンズ（別売り）や三脚を利用しての撮影時に選ぶと、より自然な画像になります。

メニューで設定する

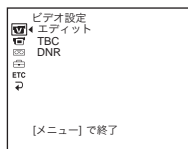
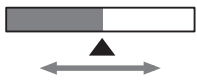
次のページへつづく➡

項目	設定	
N.S. ライト	赤外線（不可視）を発光するNightShotライトを使うと、NightShot plus機能での撮影時、画像がよりはっきりします。	
	▷入	NightShotライトを使って撮影するときに選びます。（22ページ）
	切	NightShotライトを使わずに撮影するときに選びます。（22ページ）

(ビデオ設定)メニューを使う

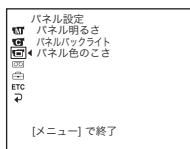
—エディット・TBC・DNR

(ビデオ設定)メニューでは、「メニューでお買い上げ時の設定を変える」(32ページ)の操作で以下を設定できます。

▷の設定がお買い上げ時の設定です。調整できる項目は、電源スイッチの位置ごとに異なります。そのとき使える項目が表示されます。使えない項目はグレー表示になります。

項目	設定	
エディット	ダビング・編集で本機を再生機として使うときに、画質劣化を低減します。	
	▷切	画質劣化を低減しないときに選びます。
	入	画質劣化を低減するときに選びます。
	ご注意 • 電源をはずして、約5分以上たつと設定は[切]に戻ります。	
TBC	▷入	ジッター(再生時の画像の横ユレ)を低減します。
	切	画像の乱れ補正が動きません。ダビングを繰り返したり、ゲーム機の信号などを記録したテープを再生するときに選びます。
	ちょっと一言 • TBCとはTime Base Correctorの略です。	
DNR	▷入	画像の色ノイズを目立たなくするときに選びます。
	切	動きの激しい画像の残像を目立たなくするときに選びます。
	ちょっと一言 • DNRとはDigital Noise Reductionの略です。	

（パネル設定）メニューを使う

—パネル明るさ・パネルバックライト・パネル色のこさ

(パネル設定)メニューでは、「メニューでお買い上げ時の設定を変える」（32ページ）の操作で以下を設定できます。

▷の設定がお買い上げ時の設定です。調整できる項目は、電源スイッチの位置ごとに異なります。そのとき使える項目が表示されます。使えない項目はグレー表示になります。

項目	設定
パネル明るさ	詳しくは13ページをご覧ください。
パネルバックライト	液晶画面のバックライトの明るさを調整できます。記録される画像に影響ありません。 ▷明るさノーマル　液晶画面を標準の明るさにします。 明るい　液晶画面をより明るくするときに選びます。 ご注意 • コンセントにつないで使うと、設定は自動的に［明るい］になります。 • ［明るい］を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が約1割短くなります。
パネル色のこさ	選択／押 決定ダイヤルを回し、液晶画面の色の濃さを調節します。記録される画像に影響ありません。 うすくなる　こくなる

▭（テープ設定）メニューを使う

—録画モード・ORC設定・▭残量表示

▭（テープ設定）メニューでは、「メニューでお買い上げ時の設定を変える」（32ページ）の操作で以下を設定できます。

ᐅの設定がお買い上げ時の設定です。調整できる項目は、電源スイッチの位置ごとに異なります。そのとき使える項目が表示されます。使えない項目はグレー表示になります。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定</th></tr>
<tr><td rowspan="3">録画モード</td><td>ᐅSP （SP）</td><td>テープへSP（標準）モードで録画するときに選びます。</td></tr>
<tr><td>LP （LP）</td><td>テープへSPモードの2倍の録画時間で長時間録画するときに選びます。ソニー製のカセットテープを使うと、本機の性能を最大限に生かせます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ご注意
• LPモードで本機で録画したテープを他機で再生すると、モザイク状のノイズが現れたり、音声が途切れたりすることがあります。
• LPモードで録画するとスタンダード8ミリ方式で録画されます。</td></tr>
<tr><td>ORC設定</td><td colspan="2">テープに最適な状態で録画設定します。
［ORC設定］を選ぶと、［カメラ録画ボタンを押してください］が表示されます。録画スタート／ストップボタンを押すと［ORC］が表示され、設定が始まります。約10秒でスタンバイモードに戻ります。
［ORC設定］を選んだ際、［完了］と表示されたら、ORCはすでに設定済みです。

ご注意
• カセットを取り出すと設定が解除されます。
• 録画済のテープに［ORC設定］をすると約0.1秒間の無記録部分ができます。ただし、その部分から続けて撮影すれば無記録部分はなくなります。

ちょっと一言
• ORCとはOptimizing the Recording Conditionの略です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">▭残量表示</td><td>ᐅオート</td><td>次のときにテープ残量を表示するときに選びます。
ー電源／テープを入れた後、テープ残量が確定したとき（約8秒間表示されます。）
ー（再生）を押したとき（約8秒間表示されます。）
ー画面表示／バッテリーインフォを押したとき（約8秒間表示されます。）
ー早送り、巻戻し、ピクチャーサーチ中</td></tr>
<tr><td>入</td><td>テープ残量を常に表示するときに選びます。</td></tr>
</table>

（初期設定）メニューを使う

—日時あわせ・オートデート・メニュー文字サイズ・デモモード

（初期設定）メニューでは、「メニューでお買い上げ時の設定を変える」（32ページ）の操作で以下を設定できます。

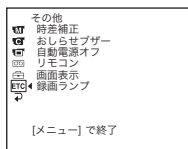
▷の設定がお買い上げ時の設定です。調整できる項目は、電源スイッチの位置ごとに異なります。そのとき使える項目が表示されます。使えない項目はグレー表示になります。

項目	設定
日時あわせ	日付・時刻を合わせます（14ページ）。
オートデート	1日1回撮影の初めの10秒間、自動的に日付が記録されます。 ▷入　撮影の初めの10秒間、日付を記録したいときに選びます。 切　オートデート機能を解除するときに選びます。 ちょっと一言 • 1日1回オートデート機能が働きます。次のときはオートデート機能が1日2回以上働きます。 ー 日時を合わせ直したとき ー カセットを入れ換えたとき ー 10秒間以内に撮影を止めたとき ー［オートデート］を［切］にしてからまた［入］に戻したとき
メニュー文字サイズ	▷ノーマル　通常の大きさでメニューを表示するときに選びます。 2×　選択されたメニュー項目を縦2倍角で表示するときに選びます。
デモモード	カセットを取り出し、電源スイッチを「撮る」にすると約10分後にデモンストレーションを見ることができます。 ▷入　初めて本機を使うときなど、どのような機能が付いているかを確認するときに選びます。 切　デモンストレーションを表示しないときに選びます。 ご注意 • NIGHTSHOT PLUSスイッチが「入」のとき、デモンストレーションできません。 ちょっと一言 • 次のいずれかを行うと、デモンストレーションを中断できます。 ー カセットを入れる。 ー 電源スイッチを「撮る」以外にする。 • バッテリー使用時は［自動電源オフ］が［5分後］の設定になっていると約5分で電源が切れます（43ページ）。

ETC（その他）メニューを使う

—時差補正・おしらせブザー・画面表示など

ETC（その他）メニューでは、「メニューでお買い上げ時の設定を変える」（32ページ）の操作で以下を設定できます。

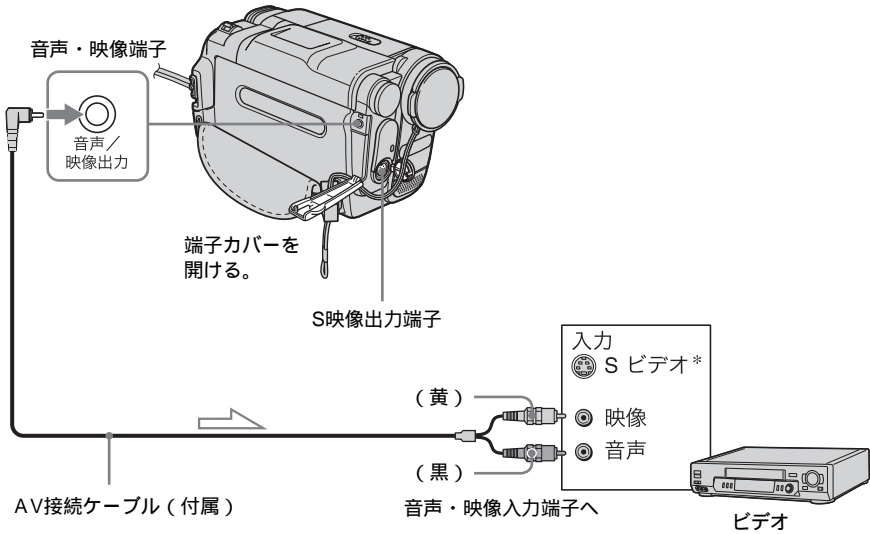
▷の設定がお買い上げ時の設定です。調整できる項目は、電源スイッチの位置ごとに異なります。そのとき使える項目が表示されます。使えない項目はグレー表示になります。

項目	設定	
時差補正	本機を海外で使うときなど、時差の設定をします。選択／押 決定ダイヤルを回して時差を設定すると、時刻も時差に合わせて変わります。時差を0に設定すると、補正前の時刻に戻ります。	
おしらせブザー	▷メロディ	撮影スタート／ストップ時、選択／押 決定ダイヤルでの操作時や誤った操作をした場合にメロディーで知らせるときに選びます。
	ノーマル	メロディーの代わりにブザーで知らせるときに選びます。
	切	メロディー、ブザーや操作音を出さないときに選びます。
自動電源オフ	▷5分後	自動電源オフ機能を使うときに選びます。電源を入れて何も操作しない状態が約5分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐために、自動的に電源が切れます。
	なし	自動電源オフ機能を使わないときに選びます。
	ご注意 • コンセントにつないで使うと自動的に［なし］になります。	
リモコン	▷入	付属のワイヤレスリモコンを使うときに選びます。
	切	リモコンを使わないときに選びます。他機のリモコンによる誤動作を防ぎます。
	ご注意 • 電源をはずしてから５分以上経つと、自動的に［入］に戻ります。	
画面表示	▷パネル	テープカウンターなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出すときに選びます。
	ビデオ出力／パネル	テープカウンターなどの画面表示をテレビ画面、液晶画面、ファインダーに出すときに選びます。

メニューで設定する

次のページへつづく➡

項目	設定	
録画ランプ	▷入	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯します。
	切	以下のときに選びます。本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しません。 ー被写体に撮影していることを意識させたくないとき ー被写体に接近して撮影するとき ー録画ランプの赤色が被写体に反射してしまうとき

ビデオ機器につなぐ

本機の画像を他の録画機へダビングできます（46ページ）。
AV接続ケーブル（付属）で図のように本機を録画機につなぎます。

：信号の流れ

* 別売りのS映像ケーブルを使うと、画像をより忠実に再現できます。接続先の機器にS映像端子が付いているときは、AV接続ケーブルの黄色いプラグ（映像）の代わりに別売りのS映像ケーブルで本機のS映像出力端子と接続先の機器のS映像端子をつないでください。
  S映像ケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。

ご注意

- AV接続ケーブル（付属）を使ってつなぐときは、あらかじめ ETC （その他）メニューで［画面表示］を［パネル］（お買い上げ時の設定）にしておいてください（43ページ）。
- 他機がステレオ（音声端子がふたつ）の場合は、AV接続ケーブルの黒いプラグ（音声）を音声入力の左音声側（白）につなぎます。

他のビデオへダビングする

本機の画像を他のビデオへ録画方式を問わず録画、編集できます。

1 本機とビデオをつなぐ（45ページ）。

2 ビデオの準備をする。
- 録画用カセットを入れる。
- 入力切り換えスイッチがある場合は「入力」にする。

3 本機の準備をする。
- 撮影済みのカセットを入れる。
- 電源スイッチを「見る／編集」にする。

4 本機で再生を始め、ビデオで録画する。
詳しくは、ビデオの取扱説明書をご覧ください。

5 ダビングが終わったら、ビデオの録画を停止し、本機の再生を停止する。

ご注意
- AV接続ケーブルを使ってダビングするときは、本機の画面表示／バッテリーインフォボタンを押してテープカウンターなどの表示を消してください（30ページ）。消さないでダビングするとテープに記録されます。

ちょっと一言
- ダビングによる画質の劣化を防ぐには、あらかじめ V（ビデオ設定）メニューで［エディット］を［入］にしてから録画してください（39ページ）。

簡単操作でダビングする

― イージーダビング

本機と接続された録画機を操作せず簡単にダビングできます。

手順１　本機と録画機をつなぐ

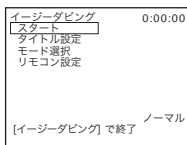
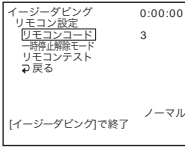
初めてイージーダビングを行うときに、以下の手順で設定を行います。一度設定を行った録画機を使用する場合は「手順２　タイトルを選ぶ」（48ページ）に進んでください。

ご注意
- リモコンコードに対応していない録画機では、イージーダビングはできません。

1 本機と録画機をつなぐ（45ページ）。

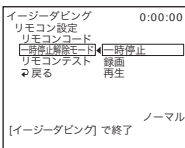
2 録画機の準備をする。
- 録画用カセットを入れる。
- 入力切り換えスイッチがある場合は「入力」にする。

3 本機の準備をする。
- 撮影済みのカセットを入れる。
- 電源スイッチを「見る／編集」にする。

4 イージーダビングボタンを押す。

5 選択／押 決定ダイヤルを回して、［リモコン設定］を選び、押して決定する。

6 選択／押 決定ダイヤルを回して、［リモコンコード］を選び、押して決定する。

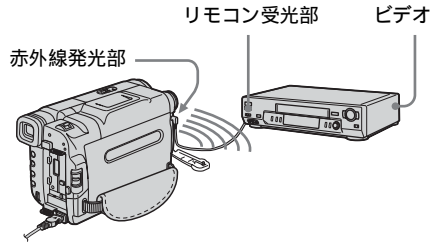
7 選択／押 決定ダイヤルを回して、録画機の［リモコンコード］を選び、押して決定する。

録画機の［リモコンコード］については、“［リモコンコード］リスト”を参照してください（48ページ）。お使いの録画機のメーカーに二つ以上のコードがある場合は、適切なコードを選んでください。

8 選択／押 決定ダイヤルを回して、［一時停止解除モード］を選び、押して決定する。

9 選択／押 決定ダイヤルを回して、録画機の一時停止を解除するモードを選び、押して決定する。

一時停止を解除するモードは録画機によって異なります。詳しくは録画機の取扱説明書をご覧ください。

10 本機の赤外線発光部と録画機のリモコン受光部を向かい合わせる。

機器の距離は約30cm離し、間に障害物などがない状態にしてください。

11 録画機を一時停止にする。

12 選択／押 決定ダイヤルを回して、［リモコンテスト］を選び、押して決定する。

13 選択／押 決定ダイヤルを回して、［実行］を選び、押して決定する。

録画機が録画を開始すれば、正しく設定されています。リモコンテストが終了すると本機の表示は［完了］に変わります。

録画機が正しく動作しないとき、［リモコンコード］を設定し直してください。

14 選択／押 決定ダイヤルを回して、［戻る］を選び、押して決定する。

次のページへつづく➡

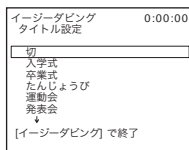
◆［リモコンコード］リスト

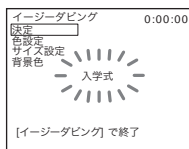
本機には、次の［リモコンコード］が記憶されています（お買い上げ時は「3」に設定）。

メーカー	［リモコンコード］
ソニー	1、2、3、4、5、6
アイワ	47、54、55、57、60、64
キヤノン	97
コルディナ	34
富士通	34
フナイ	61、80
ゴールドスター	47
日立	43、47、56、75
ビクター	12、13、14、21
マルマン	26
三菱	22、27、28、29
ＮＥＣ	35、65、66、67
オリオン	69、72
松下	16、18、19、78、79、96
フィリップス	83
パイオニア	31
三洋	36、38、46
シャープ	88、89、90、98
東芝	39、40、68
ユピテル	47

手順２　タイトルを選ぶ

タイトルを入れることができます。
本機にあらかじめ登録してある8種類のタイトルとオリジナルタイトル2種類の中から選べます。オリジナルタイトルの作りかたについては、25ページの手順2をご覧ください。

1 選択／押 決定ダイヤルを回して、［タイトル設定］を選び、押して決定する。

2 選択／押 決定ダイヤルを回して、希望のタイトルを選び、押して決定する。

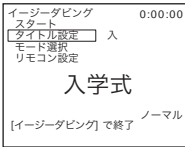
タイトルが点滅します。

3 タイトルの色、サイズ、背景色を設定する。

表示されているタイトルの色、サイズ、背景色でよいときは「手順３　ダビングモードを選ぶ」（49ページ）に進んでください。

1 選択／押 決定ダイヤルを回して［色設定］、［サイズ設定］、［背景色］のいずれかを選び、押して決定する。

2 選択／押 決定ダイヤルを回して希望の項目を選び、押して決定する。

3 必要なだけ手順１、２を繰り返す。

4 選択／押 決定ダイヤルを回して、［決定］を選び、押して決定する。

ご注意

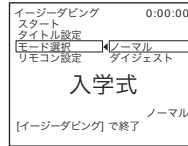
- 選んだタイトルは録画機側のカセットにのみ記録されます。
- ［背景色］を［フェード］に設定した場合、接続する録画機によっては画像が乱れることがあります。

ちょっと一言

- ［色設定］は以下のように変わります。
  ［しろ］↔［きいろ］↔［むらさき］↔［あか］↔［みずいろ］↔［みどり］↔［あお］
- ［サイズ設定］は以下のように変えられます。
  ［ちいさい］↔［おおきい］
- ［背景色］は以下のように変えられます。
  ［フェード］↔［しろ］↔［きいろ］↔［むらさき］↔［あか］↔［みずいろ］↔［みどり］↔［あお］↔［くろ］

手順３　ダビングモードを選ぶ

通常の録画［ノーマル］か一定時間おきに撮るインターバル録画［ダイジェスト］のどちらかを選んでダビングができます。

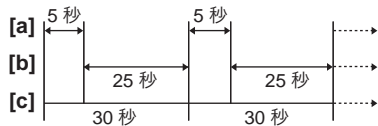
1 選択／押 決定ダイヤルを回して、［モード選択］を選び、押して決定する。

2 選択／押 決定ダイヤルを回して、［ノーマル］か［ダイジェスト］を選び、押して決定する。

［ノーマル］を選んだとき：通常のダビングを行います。

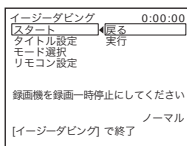
［ダイジェスト］を選んだとき：自動的に5秒間の録画と25秒間の録画停止を交互に行いダビングします。

a. 録画時間（録画機）
b. 停止時間（録画機）
c. 再生時間（本機）

ダビングや編集をする

次のページへつづく➡

手順４　イージーダビングを実行する

録画機が一時停止状態であることを確認してください。

1 選択／押 決定ダイヤルを回して、［スタート］を選び、押して決定する。

2 選択／押 決定ダイヤルを回して、［実行］を選び、押して決定する。

ダビングが終わると、本機と録画機が自動的に停止し、イージーダビング画面に戻ります。

◆イージーダビングを中止するには

本機の■（停止）を押す。

◆イージーダビングを終了するには

イージーダビングボタンを押す。

ご注意

- ［スタート］が選べないときは、［実行できません］と表示され、ダビングできません。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。
また、液晶画面やファインダーに「C:□□:□□」（□は数字）のように表示されたときは、自己診断表示機能が働いています。57ページをご覧ください。

全体操作について

症状	原因と対処のしかた
電源スイッチを「見る／編集」または「撮る」にしても動作しない。	• バッテリーの消耗または消耗間近、未装着。 ➔充電されたバッテリーを取り付ける。（10ページ） ➔ACアダプターのプラグをコンセントに差し込む。（12ページ）
電源が入っているのに操作できない。	➔電源（バッテリーまたはACアダプターの電源コード）を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESET（リセット）ボタンを先のとがったもので押す。（RESETボタンを押すと、日時を含めすべての設定が解除されます。）
付属のワイヤレスリモコンが働かない。	➔ETC（その他）メニューで［リモコン］を［入］にする。（43ページ） ➔ボタン型リチウム電池の＋極と－極を正しく入れる。それでも働かないときは、ボタン型リチウム電池の寿命のため。新しいボタン型リチウム電池に交換する。（71ページ） ➔リモコンと本体リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。

次のページへつづく➔

バッテリー・電源について

症状	原因と対処のしかた
バッテリーを充電中、充電ランプが点灯していない。	➔バッテリーを正しく取り付け直す。それでも点灯しないときは、コンセントから電源が供給されていない。（10ページ） • すでに充電が完了している。
バッテリーを充電中に充電ランプが点滅する。	➔バッテリーを正しく取り付け直す。それでも点滅するときは、バッテリーが故障しているおそれがあるため、コンセントからプラグを抜きテクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。（10ページ）
バッテリーの消耗が早い。	• 周囲の温度が極端に低い、または充電が不充分です。故障ではありません。 ➔満充電し直す。それでも、消耗が早いときは、バッテリーの寿命のため、新しいバッテリーに交換する。（10、62ページ）
バッテリー残量が正しく表示しない。	• 温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している、または充電が不充分です。故障ではありません。 ➔満充電し直す。それでも、正しく表示されないときは、バッテリーの寿命のため、新しいバッテリーに交換する。（10、62ページ）
バッテリー残量が充分あるのに電源がすぐ切れる。	• 残量表示にズレが生じている、または充電が不充分です。 ➔満充電し直すと残量が正しく表示される。（10ページ）
電源が途中で切れる。	• ETC（その他）メニューで［自動電源オフ］が［5分後］になっている。（43ページ） ➔電源を入れて何も操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れます。 電源スイッチを下にずらしてもう一度電源を入れる。（13ページ）またはACアダプターを使用する。
ACアダプターを使用中、本機に不具合が生じる。	➔電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから、もう一度電源をつなぐ。

カセットについて

症状	原因と対処のしかた
カセットが取り出せない。	➔電源（バッテリーやACアダプター）が正しく接続されているか確認する。（10ページ） ➔バッテリーをはずして、もう一度取り付ける。（10ページ） ➔充電されたバッテリーを取り付ける。（10ページ）

症状	原因と対処のしかた
カセットカバーを開けてもテープが出てこない。	• 本機が結露しかけている。（63ページ）
テープ残量表示が出ない。	➔常に表示したいときは、(テープ設定）メニューで［残量表示］を［入］にする。（41ページ）

液晶画面・ファインダーについて

症状	原因と対処のしかた
液晶画面またはファインダーに見慣れない画面が現れる。	• ［デモモード］になっている（カセットを入れずに電源スイッチを「撮る」にして10分経つと自動的に表示されます）。カセットを入れると［デモモード］が中断される。［デモモード］にしない設定もあります。（42ページ）
見慣れない表示が出る。	➔72ページをご覧ください。
ファインダーの画像がはっきりしない。	➔視度調整つまみを動かして、画像がはっきり見えるようにする。（14ページ） ➔ファインダーをのばし、見やすい角度に上げる。（14ページ）
ファインダーの画像が消えている。	➔液晶画面を閉じる。開いているとファインダーには画像は映りません。（14ページ）

次のページへつづく➡

撮影について

症状	原因と対処のしかた
録画スタート／ストップボタンを押しても、テープが走行しない。	➔電源スイッチを「撮る」にする。（13ページ） ➔テープが最後まで行っている。巻き戻すか、新しいカセットを入れる。 ➔カセットの誤消去防止ツマミをRECにする。または新しいカセットを入れる。（61ページ） ➔結露でテープがヘッドドラムに貼り付いている。カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。（63ページ）
電源が途中で切れる。	• ETC（その他）メニューで［自動電源オフ］が［5分後］になっている。（43ページ） ➔電源を入れて何も操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れます。 電源スイッチを下にずらしてもう一度電源を入れる。（13ページ）またはACアダプターを使用する。 ➔バッテリーを充電する。（10ページ）
手ぶれ補正が働かない。	➔（カメラ設定）メニューで［手ぶれ補正］を［入］にする。（37ページ） ➔（カメラ設定）メニューで［ワイドTV］を［切］にする。（36ページ）
オートフォーカスが働かない。	➔フォーカスボタンを押し、オートフォーカスにする。（23ページ） ➔オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる。（23ページ）
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。	• 背景とのコントラストが強い被写体のときに出る現象で、故障ではありません。
明るい被写体を映すと、縦に尾を引いたような画像になる。	• スミア現象と呼ばれるもので、故障ではありません。
画像の色が正しくない。	➔NightShot plusを解除する。（22ページ）
画面が白すぎて画像が見えない。	➔明るいところでは、NightShot plusを解除する。（22ページ） ➔逆光補正を解除する。（21ページ）
操作音が出ない。	➔ETC（その他）メニューで［おしらせブザー］を［メロディ］か［ノーマル］にする。（43ページ）
テレビやコンピューターの画面を撮影すると黒い帯が出る。	➔（カメラ設定）メニューで ［手ぶれ補正］を［切］にする。（37ページ）

症状	原因と対処のしかた
画像が明るくなる、ちらつく（フリッカー）、色が変化する。	➔蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下で、［ソフトポートレート］や［スポーツレッスン］モードで撮影したため。［プログラムAE］を解除する。（34ページ）
エンドサーチが働かない。	• 撮影後にカセットを取り出したため。 • カセットを入れてからエンドサーチするまでに、1回も撮影していない。
エンドサーチが誤動作する。	• テープの始めや途中に無記録部分があるためで、故障ではありません。
ビデオライトが点灯しない。	➔ライトボタンを押して ON を選ぶ。 ➔ビデオライトが故障しているおそれがあるため、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

再生について

症状	原因と対処のしかた
再生できない。	➔テープが最後まで行っているときは巻き戻す。（28ページ）
画像に横線が入る、画像がぼけたり、映らなかったりする。	➔ビデオヘッドが汚れているため。別売りのクリーニングカセットできれいにする。（64ページ） ➔（ビデオ設定）メニューで、［エディット］を［切］にする。（39ページ）
音声が小さい。または聞こえない。	➔音量を大きくする。（28ページ） ➔Ｓ映像ケーブルだけでつないでいるため。AV接続ケーブルの黒のプラグもあわせてつなぐ。（31ページ）
音声が途切れる。	➔ビデオヘッドが汚れているため。別売りのクリーニングカセットできれいにする。（64ページ）
エンドサーチが働かない。	• 撮影後にカセットを取り出したため。 • カセットを入れてからエンドサーチするまでに、１度も撮影していない。
エンドサーチが誤動作する。	• テープの始めや途中に無記録部分があるためで、故障ではありません。
ノイズが画面上に現れる。	• テープに記録されているTVカラーシステムがPALなど、本機のカラーシステム（NTSC）と違うため、見ることができません。（60ページ） ➔変速再生中は画面にノイズが現れることがありますが、故障ではありません。テレビにつないで見るときは、液晶パネルを閉じてリモコンで操作すると症状を軽減できます。

次のページへつづく➡

ダビング・編集について

症状	原因と対処のしかた
AV接続ケーブルを使ってダビングができない。	➔ETC（その他）メニューで［画面表示］を［パネル］にする。（43ページ）
イージーダビングが動かない。	• 録画機側の入力切り換えができていない。 ➔接続を確認して、録画機側の入力切り換えスイッチを設定し直す。（46ページ） • ［リモコンコード］、または［一時停止解除モード］の設定が間違っている。 ➔［リモコンコード］、または［一時停止解除モード］を設定し直し、［リモコンテスト］を行って正しく設定されているか確認する。（46ページ）

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示・警告表示

液晶画面またはファインダーには、以下のように表示されます。詳しい説明は、（　）内のページをご覧ください。

表示	原因と対処のしかた
C:□□:□□/E:□□:□□ (自己診断表示)	お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。 C:04:□□ ➔“インフォリチウム”以外のバッテリーが使われているため。必ず“インフォリチウム”バッテリーを使ってください。（62ページ） C:21:□□ ➔結露しているため。カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。（63ページ） C:22:□□ ➔ビデオヘッドが汚れているため。別売りのクリーニングカセットできれいにする。（64ページ） C:31:□□/C:32:□□ ➔上記以外の症状になっている。カセットを入れ直し、もう一度操作し直す。ただし、本機が結露気味のときは、この操作をしないでください。（63ページ） ➔電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作し直す。 ➔テープを交換する。 ➔RESET（リセット）ボタンを押して、もう一度操作し直す。（69ページ） E:61:□□/E:62:□□ ➔お客様自身で正常には戻せない症状です。テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせいただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。
（バッテリー残量に関する警告）	• バッテリー残量が少ない。 • 修理が必要と思われます。テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせいただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

次のページへつづく➡

表示	原因と対処のしかた
（結露の警告）*	➔カセットを取り出し、電源をはずして、カセット入れを開けたまま、約1時間放置する。（63ページ）
（テープ関連の警告）	遅い点滅 • テープ残量が5分を切った。 • カセットが入っていない。* • カセットが誤消去防止状態になっている。*（61ページ） 速い点滅 • テープが終わっている。*
⏏ (テープを取り出す必要がある警告)*	遅い点滅 • カセットが誤消去防止状態になっている。（61ページ） 速い点滅 • 結露している。（63ページ） • 自己診断表示が表示されている。（57ページ）

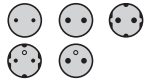
* 警告表示・お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。（43ページ）

お知らせメッセージ一覧

警告表示とともに、以下のお知らせメッセージが表示されます。

項目	表示	原因と対処のしかた
バッテリー	"インフォリチウム"バッテリーを使ってください	→詳しくは62ページをご覧ください。
	バッテリーを取りかえてください	→10ページをご覧ください。
	このバッテリーは古くなりました　取りかえてください	→詳しくは62ページをご覧ください。
	⏏ 電源を取り付けなおしてください	ー
結露	⏏ 結露しています　カセットを取り出してください	→詳しくは63ページをご覧ください。
	結露しています　約1時間放置してください	→詳しくは63ページをご覧ください。
カセット・テープ	カセットを入れてください	→16ページをご覧ください。
	⏏ カセットを入れなおしてください	• テープの損傷などがないか確認する。
	⏏ カセットの誤消去防止ツマミを確認してください	→61ページをご覧ください。
	テープが終わっています	ー
その他	ヘッドが汚れています クリーニングカセットを使ってください	→64ページをご覧ください。
	シンプル操作に設定できません	→20, 29ページをご覧ください。
	シンプル操作を解除できません	→20, 29ページをご覧ください。
	シンプル操作中は無効のキーです	→20, 29ページをご覧ください。

海外で使う

◆電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V～240V・50/60Hz）で使えます。
また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米	主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要です。	

◆カラーテレビ方式について

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC、表参照）で、映像・音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）と接続ケーブルが必要です。

テレビ方式	対象
NTSC	アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコ など

◆時差補正機能について

海外で使うとき、ETC（その他）メニューの［時差補正］を選ぶと、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせられます（43ページ）。

ビデオカセットについて

◆記録・再生するときのテープの種類について

本機ではHi8（ハイエイト）テープHi8とスタンダード8ミリテープ8が使えます。
Hi8(ハイエイト）テープはHi8方式*で録画・再生され、スタンダード8ミリテープはスタンダード８ミリ方式で録画・再生されます。
Hi8テープを使ってLPモードで録画した場合、スタンダード8ミリ方式で録画されます。
他のカメラで撮ったテープを本機で再生するときは録画方式を自動で判別します。

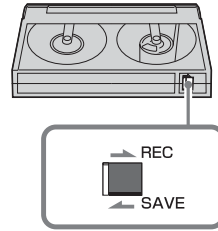
* 従来のスタンダード8ミリ方式をもとに、さらに高画質、高解像度を追求するために開発されたビデオ方式です。
Hi8方式で録画すると、Hi8方式対応でないビデオ機器では正常に再生できません。

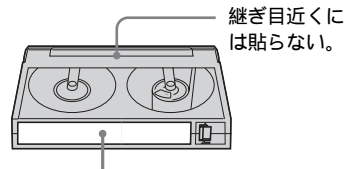
無記録部分を作らないために
以下のときは、次の撮影の前にエンドサーチ（27ページ）を行って撮影終了位置に戻します。
ー撮影の途中でテープを出し入れしたとき
ーテープを再生したとき
すでに無記録部分があるテープでは、上記に留意してもう一度最初から最後まで撮影し直してください。

◆著作権保護信号について

再生するとき
本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、他機をつないで本機の画像を記録するとき、記録が制限されることがあります。

◆取り扱い上のご注意

間違って消さないために
カセットの背にある誤消去防止ツマミをSAVEの矢印のほうへずらします。

REC：録画できる。
SAVE：録画できない。（誤消去防止状態）

ラベルは指定の位置に
カセットにラベルを貼るときは、指定の位置に正しくお貼りください。指定以外の位置に貼ると故障の原因になります。

カセットの使用後は
ご使用後は必ずテープを巻き戻してください（画像や音声が乱れる原因となります）。巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

---

video Hi8、8、Hi8は商標です。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー（Mシリーズ）対応です。それ以外のバッテリーは使えません。“インフォリチウム”バッテリー Mシリーズには InfoLITHIUM M マークがついています。

◆InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売りのACアダプター／チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。別売りのACアダプター／チャージャーを使うと、使用可能時間や充電終了時間も計算して表示します。

◆充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10〜30℃の範囲で、充電ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜くか、バッテリーを取り外してください。

◆バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、以下のことをおすすめします。
  ーバッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
  ー高容量バッテリー「NP-QM71/QM71D/QM91/QM91D（別売り）」を使う。
- 液晶パネルの使用や再生／早送り／巻き戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-QM71/QM71D/QM91/QM91D（別売り）」のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影や再生中は、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2〜3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。

◆バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再度満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約5〜10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告するマークが点滅することがあります。

◆バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、（その他）メニューで［自動電源オフ］を［なし］に設定し（43ページ）、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください。

◆バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

取り扱い上のご注意とお手入れ

◆使用・保管について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温や低温になる場所
  炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- ファインダーや液晶画面、レンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
  ファインダー内部や液晶画面を傷めます。

長時間使用しないときは
3分間ほど再生するなどして、ときどき電源を入れてください。

◆結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、[⏏結露しています カセットを取り出してください] または [結露しています 約1時間放置してください] と警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

次のページへつづく➡

結露が起きたときは
カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、⏏ OPEN/EJECT（開く／カセット取出し）つまみ以外は働きません。
電源を切ってカセットカバーを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても結露表示や⏏が点滅しなければ使えます。
結露気味のときは、本機が結露を検出できないことがあります。このようなときは、カセットカバーを開けてから約10秒間カセットが出てこないことがありますが、故障ではありません。カセットが出てくるまでカセットカバーを閉めないでください。

結露が起こりやすいのは
以下のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。
- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立の後
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために
本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

◆ビデオヘッドについて

- ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったり、音声が途切れたりします。
- 以下のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットV8-25CLDを10秒間使ってヘッドをきれいにしておきましょう。
  ー再生画面がザラつく、または青１色の画面になる。
  ー再生画面が不鮮明。

  ー再生画像が出ない、または音声が途切れる。
  ー録画中に［⊗ ヘッドが汚れています クリーニングカセットを使ってください］が表示される。

◆液晶パネルについて

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

お手入れ
- 液晶パネルに指紋やゴミが付いて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。
  別売りの液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶パネルにかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

◆本機表面の取り扱いについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
  ーシンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け・殺虫剤のような化学薬品類
  ー上記が手についたまま本機を扱うこと
  ーゴムやビニール製品との長時間の接触

◆レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

◆内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入／切と関係なく保持するために、充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、3ヶ月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

充電方法
本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切（充電）」にして24時間以上放置する。

主な仕様

◆システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャンFM方式
録音方式	回転ヘッド、FM方式
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	8ミリビデオ方式のビデオカセットテープ
テープ速度	SPモード：約14.35mm/秒 LPモード：約7.19mm/秒
録画・再生時間	SPモード：120分 LPモード：240分 （120分テープ使用時）
早送り、巻き戻し時間	約5分（120分テープ使用時）
ファインダー	電子ファインダー：白黒
撮像素子	3.0mm（1/6型）CCD固体撮像素子 総画素数：約32万画素 有効画素数：約20万画素
ズームレンズ	20倍（光学）、240倍（デジタル） f=2.5-50mm 35mmカメラ換算では42～840mm フィルター径37mm F=1.6～2.4
色温度切り換え	自動
最低被写体照度	3 lx（ルクス）（F1.6） 0 lx（ルクス）（NightShot plus時）

◆入・出力端子

S映像端子	4ピンミニDIN Y出力　1Vp-p 75Ω不平衡 C出力　0.286Vp-p 75Ω不平衡
音声／映像出力端子	AVミニジャック 映像：1Vp-p 75Ω不平衡、同期負 音声：327mV（47 kΩ負荷時）、インピーダンス2.2 kΩ以下

◆液晶画面

画面サイズ	6.2cm（2.5型）
総ドット数	123200ドット 横560×縦220

その他

次のページへつづく➡

◆電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力7.2V DC端子入力8.4V
消費電力（バッテリー使用時）	1.8W（ファインダー使用時、明るさ標準） 2.7W （液晶画面使用時、明るさ標準）
動作温度	0℃～+40℃
保存温度	－20℃～+60℃
外形寸法	85×98×151mm （最大突起部を除く）（幅×高さ×奥行き）
本体質量	約 780g（本体のみ）
撮影時総質量	約 890g (バッテリー NP-FM30、120分テープ、レンズキャップ含む。)
付属品	9ページをご覧ください。

◆ACアダプター　AC-L15A/L15B

電源	AC100～240V、50/60Hz
消費電力	18W
定格出力	DC8.4V、1.5A
動作温度	0℃～+40℃
保存温度	－20℃～+60℃
外形寸法	約56×31×100mm （最大突起部をのぞく） （幅×高さ×奥行き）
質量	約190g（本体のみ）

◆リチャージャブルバッテリーパックNP-FM30

最大電圧	DC8.4V
公称電圧	DC7.2V
容量	5.0wh（700mAh）
最大外形寸法	約38.2×20.5×55.6mm （幅×高さ×奥行き）
質量	約65g
使用温度	0℃～+40℃
使用電池	Li-ion

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

◆保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
このビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

◆アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは
テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

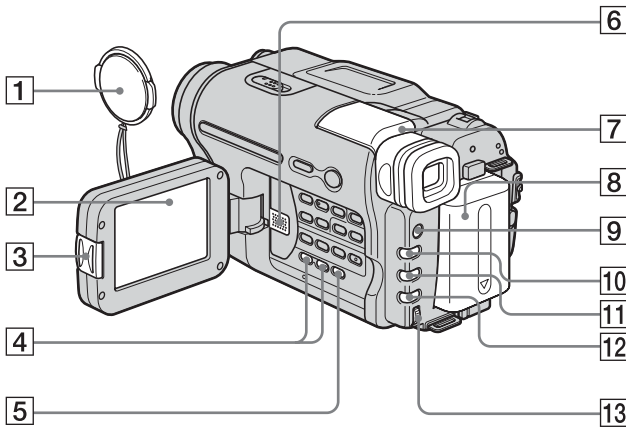
保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社はビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

各部のなまえ

本体

1 レンズキャップ（17ページ）
2 液晶画面（2、13ページ）
3 OPENボタン（13ページ）
4 音量－/+*ボタン（28ページ）
5 エンドサーチボタン（27ページ）
6 スピーカー
7 ファインダー（2、13ページ）
8 バッテリーパック
9 ライトボタン（19ページ）
10 フェーダー *ボタン（24ページ）
11 逆光補正ボタン（21ページ）
12 フォーカスボタン（23ページ）
13 選択／押 決定ダイヤル（32ページ）

* ボタンに凸点（突点）が付いています。

◆レンズキャップの取り付けかた

次のページへつづく➡

1 ビデオライト（19ページ）

2 レンズ

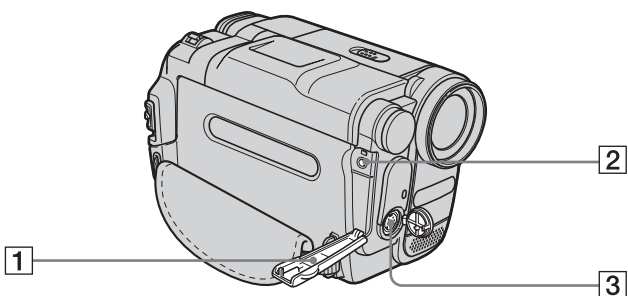
3 リモコン受光部／赤外線発光部（46ページ）

4 録画ランプ（17ページ）

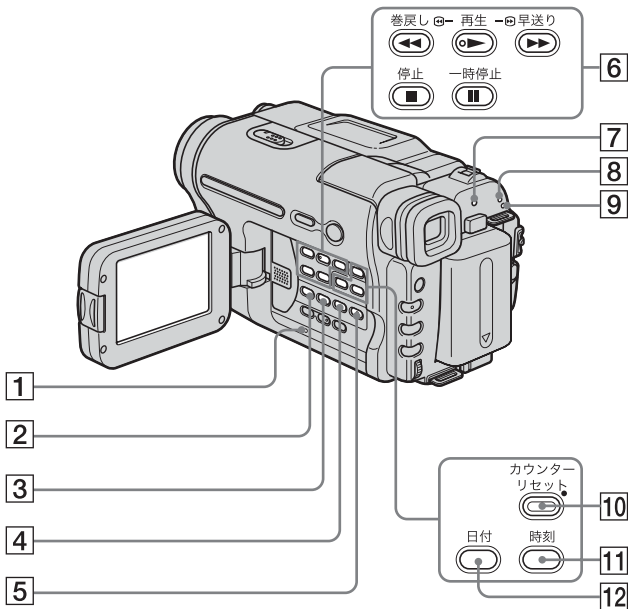
5 内蔵モノラルマイク

6 NIGHTSHOT PLUS スイッチ（22ページ）

7 シンプルボタン（20、29ページ）

8 画面表示／バッテリーインフォボタン（11、30ページ）

1 ジャックカバー

2 音声／映像出力端子（31、45ページ）

3 S映像出力端子（31、45ページ）

1 RESET（リセット）ボタン（51ページ）

2 イージーダビングボタン（46ページ）

3 タイトルボタン（25ページ）

4 明るさボタン（22ページ）

5 メニューボタン*（32ページ）

6 ビデオ操作ボタン

■ 停止

◀◀ 巻戻し

▶ 再生*

▶▶ 早送り

❚❚ 一時停止

7 充電ランプ（10ページ）

8 撮るランプ（13ページ）

9 見る／編集ランプ（13ページ）

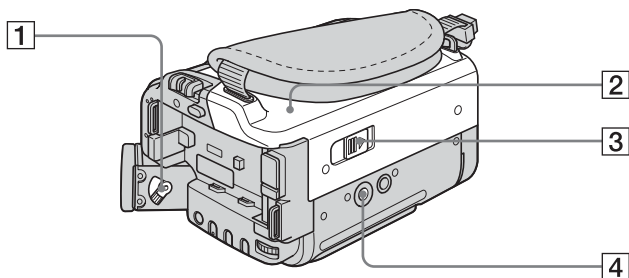
10 カウンターリセットボタン（18ページ）

11 時刻ボタン（15、20ページ）

12 日付ボタン（15、20ページ）

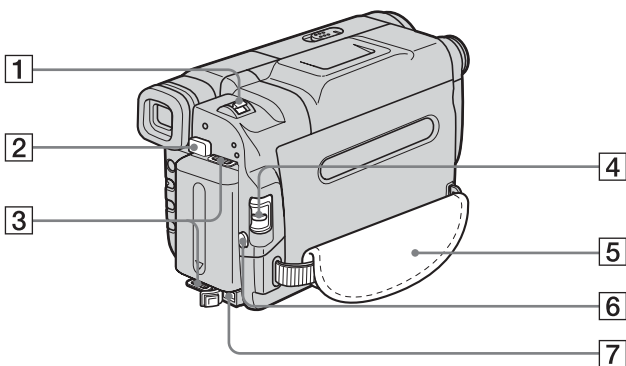
* ボタンに凸点（突点）が付いています。

各部のなまえ・索引

次のページへつづく➡

1 視度調整つまみ（14ページ）

2 カセットぶた

3 ⏏ OPEN/EJECT（開く／カセット取出し）つまみ（16ページ）

4 三脚用ネジ穴
三脚を使うときは、ネジの長さが5.5mm以下のものを使ってください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷付けることがあります。

1 ズームレバー（18ページ）

2 BATT（バッテリー取り外し）ボタン（10ページ）

3 ショルダーベルト取り付け部

4 電源スイッチ（13ページ）

5 グリップベルト（2ページ）

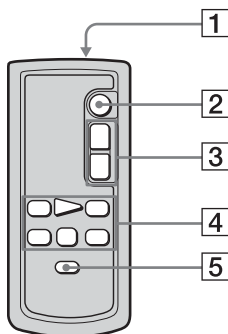
6 録画スタート／ストップボタン（17ページ）

7 DC IN端子（10ページ）

◆ショルダーベルト（別売り）の取り付けかた

ショルダーベルトの取り付け部に図のように取り付けてください。

ワイヤレスリモコン

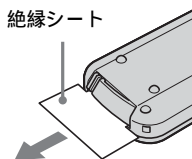
絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。

1 リモコン発光部
本機のリモコン受光部と向かい合わせてください。

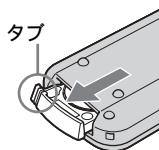
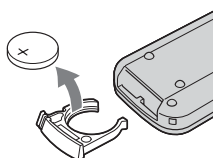
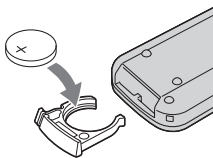
2 録画スタート／ストップボタン（17ページ）

3 ズームボタン（18ページ）

4 ビデオ操作ボタン（巻き戻し・再生・早送り・一時停止・停止・スロー）（28ページ）

5 画面表示ボタン（30ページ）

◆絶縁シートの抜きかた

◆ボタン電池を交換するには

1 電池ケースのタブを内側に押しながら、溝に爪をかけて引き出す。

2 ボタン型リチウム電池を取り出す。

3 ＋面を上にして新しいボタン型リチウム電池を入れる。

4 電池ケースを本体に戻す。「カチッ」と音がするまで差し込む。

リモコンについてのご注意

- リモコンには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、ほかのビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

次のページへつづく➡

ファインダーと液晶画面の表示

撮影中や再生中、下記の表示やアイコンが出ます。( ) 内は参照ページです。

例：電源スイッチが「撮る」のとき

テープカウンター（18）/自己診断（57）

表示	意味
60分	バッテリー残量（18）
SP LP	録画モード（18）
スタンバイ／ ●録画	撮影スタンバイ／撮影中
	対面撮影モード（19）
Hi8	Hi8（ハイエイト）方式表示
	テープ残量（18）
AUTO ON	ビデオライト（19）
	NightShot plus（22）
	警告（57）
	カメラ明るさ調整（22）
	手動フォーカス（23）
	逆光補正（21）
	プログラムAE（34）
	ピクチャーエフェクト（35）
16:9	ワイドTV（36）
（ ）	手ぶれ補正（37）

索引

ア行

イージーダビング........46
インフォリチウムバッテリー
........62
液晶パネル........2
エディット........39
エンドサーチ........27
オートシャッター........35
オートデート........42
おしらせブザー........43
お知らせメッセージ........57
音量........28

カ行

海外使用........60
カセット........16, 61
カメラ明るさ調節........22
画面表示........43
カラーテレビ方式........60
逆光補正........21
グリップベルト........2
クリーニングカセット........64
警告表示........57
結露........63
広角
　ズームを参照
高速アクセス........29
誤消去防止........61

サ行

再生時間........12
撮影時間........12
残量表示........41
自己診断表示........57
時差補正........43
自動電源オフ........43
充電........10
シンプル操作........20, 29
ズーム........18
ストライプフェーダー........25
赤外線発光部........47, 68
操作音
　おしらせブザーを参照

タ行

タイトル........25
対面撮影........19
ダビング........45, 46
つなぎ撮り
　エンドサーチを参照
テープカウンター........18
デジタルズーム........36
手ぶれ補正........37
デモンストレーション
（デモモード）........42
電源モード........13
時計を合わせる........14

ナ行

日時あわせ........14, 42

ハ行

バッテリー
　バッテリーインフォ
　........11
　バッテリー残量表示
　........18, 62
　バッテリーパック........10
パネル明るさ........40
パネル色のこさ........40
パネルバックライト........40
ピクチャーエフェクト........35
ピクチャーサーチ........29
日付・時刻........15
ビデオヘッド........64
ビデオライト........19
ファインダー
　視度調節........14
フェーダー........24
フォーカス........23
ブラックフェーダー........24
プログラム AE........34, 35
望遠
　ズームを参照
ボタン電池
　本機........65
　ワイヤレスリモコン
　........71
ホワイトフェーダー........24

マ行

満充電........11
メニュー
　カメラ設定........36
　初期設定........42
　その他........43
　使いかた........32
　テープ設定........41
　パネル設定........40
　ビデオ設定........39
　マニュアル設定........34
メニュー文字サイズ........42
モザイクフェーダー........24
モノトーンフェーダー........25
モノラル音声........17

ラ行

リモコン........43
リモコン発光部........71
録画モード........18, 29, 41
録画ランプ........44

ワ行

ワイド TV........36
ワイヤレスリモコン........71

アルファベット順

AC アダプター........10
AV 接続ケーブル........31, 45
DNR........39
Hi8（ハイエイト）方式........61
ID-1........37
LP
　録画モードを参照
NightShot plus........22
NTSC........60
N.S. ライト........23, 38
ORC 設定........41
PAL........55
RESET（リセット）
ボタン........69
S 映像端子........31, 45
SP
　録画モードを参照
TBC........39

お問い合わせ窓口のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

■テクニカルインフォメーションセンター

ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。
製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。
また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。

電話：0564-62-4979
受付時間：月～金曜日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
お電話される前にあらかじめ以下の内容をご用意いただきますとより迅速な対応が可能になります。

①本機の型名CCD-TRV116
②本機の製造番号
（保証書などに記載されています）

■ハンディカムホームページ

ハンディカムの活用法やアクセサリー情報、パソコンへの画像取り込み方法を掲載しています。
http://www.sony.co.jp/cam/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

この説明書は100%古紙再生紙とVOC (揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan